

(様式第 9)

広大医総第 21-5 号
平成 21 年 10 月 2 日

厚生労働大臣 殿

広島大学病院長 越 智 光

広島大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 20 年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	120人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非 常 勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	436人	15人	441.1人	看護業務補助	48人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	202人	0人	202人	理学療法士	12人	臨床検査技師	57人
薬 剤 師	57人	0人	57人	作業療法士	7人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視能訓練士	6人	その他	0人
助 産 師	14人	0人	14人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	697人	43人	728.4人	臨床工学技士	11人	医療社会事業従事者	4人
准 看 護 師	0人	2人	1.8人	栄 養 士	3人	その他の技術員	7人
歯科衛生士	20人	0人	20人	歯 科 技 工 士	7人	事 務 職 員	302人
管理栄養士	10人	0人	10人	診療放射線技師	34人	そ の 他 の 職 員	224人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	655.4人	25.4人	680.8人
1日当たり平均外来患者数	1630人	504.1人	2134.1人
1日当たり平均調剤数	1545 剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション(前十字靭帯損傷又は後十字靭帯損傷に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齶蝕の修復に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンビン欠乏症、第Ⅶ因子欠乏症、先天性アンチトロンビンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
HDRA法又はCD—DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
子宮頸部前がん病変のHPV—DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	4人
悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈天循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージⅠ又はⅡの乳がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はパージャヤー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。))に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	2人
ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞踏病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜癒着、瞼球癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷癒着その他の重症の癒着性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
神経芽腫のRNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体室素処理骨移植	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術(インスリンーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、膵管内腫瘍その他の膵良性腫瘍に係る膵体尾部切除又は核出術に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マントル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードVの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植(HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術(頸椎椎間板ヘルニア(画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のもの(後縦韌帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
ケラチン病の遺伝子診断(水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はパージャーカー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はパージャーカー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法(肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断(ウィルソン病、メンケス病又はオクシピタルホーン症候群に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。))のうち、観血的手術を実施したもの(開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。))に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラレーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法(ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存(骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性(欠損性又は感染性偽関節に係るものに限る。)、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時(初回又は再置換術時に限る。))の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術(難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないもの)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価(骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍掻爬術後若しくは骨髄炎掻爬術後の症状に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法(歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術(人工股関節のたるみに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下直腸固定術(直腸脱に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
骨移動術による関節温存型再建(骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション(原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍(食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・無	0人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。)	有・無	人
先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに限る。)	有・無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はヒオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。)	有・無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。)	有・無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類I b期までの子宮体がんに係るものに限る。)	有・無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・無	人
RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。)	有・無	人
角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	有・無	人
強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。)	有・無	人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治癒切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)	有・無	人
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第百七十六号)の「(1) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小臼歯の重度の齶蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)	有・無	人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。))又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)	有・無	人
無拘束型多点感圧シートセンサを用いた検査(閉塞性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる症状(習慣性がある激しいびき、日中の傾眠等をいう。))及び所見(肥満、薬物療法に対して抵抗性を有する高血圧等をいう。))が認められる者又は中枢性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる慢性心不全の者に係るものに限る。)	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは白蓋骨折に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	<input checked="" type="radio"/> 有・無	88人
カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術(プルーン・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIHIF)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input type="radio"/> 無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
内視鏡下手術用ロボットを用いた冠動脈バイパス手術(虚血性心疾患に係るものであって、一箇所を吻合するものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	54人	・モヤモヤ病(ウリス動脈輪閉塞症)	31人
・多発性硬化症	98人	・ウェゲナー肉芽腫症	9人
・重症筋無力症	48人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	35人
・全身性エリテマトーデス	202人	・多系統萎縮症	16人
・スモン	6人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	3人
・再生不良性貧血	54人	・膿疱性乾癬	5人
・サルコイドーシス	52人	・広範脊柱管狭窄症	7人
・筋萎縮性側索硬化症	28人	・原発性胆汁性肝硬変	45人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	102人	・重症急性膵炎	3人
・特発性血小板減少性紫斑病	119人	・特発性大腿骨頭壊死症	86人
・結節性動脈周囲炎	9人	・混合性結合組織病	14人
・潰瘍性大腸炎	314人	・原発性免疫不全症候群	16人
・大動脈炎症候群	9人	・特発性間質性肺炎	12人
・ピュルガー病	43人	・網膜色素変性症	12人
・天疱瘡	28人	・プリオン病	2人
・脊髄小脳変性症	78人	・原発性肺高血圧症	5人
・クローン病	216人	・神経線維腫症	23人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	6人	・亜急性硬化性全脳炎	2人
・悪性関節リウマチ	9人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1人
・パーキンソン病関連疾患	133人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	3人
・アミロイドーシス	11人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	1人
・後縦靭帯骨化症	41人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・ハンチントン病	1人		

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1週間に1～2回程度 1ヵ月に7回程度		
剖検の状況	剖検症例数	49例	剖検率 11.4%

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額		補助元又委託元
AML1点突然変異を有する骨髄異形成症候群におけるBMI-1高発現の分子機構	木村 昭郎	血液内科	2,100,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
APC/Cユビキチンリガーゼの活性を阻害するEmil1の過剰発現と癌化との関連	工藤 保誠	口腔顎顔面再 建外科	10,400,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
CD47-SIRPシグナル制御による移植抗原反応性T細胞・B細胞性免疫応答の抑制	大段 秀樹	移植外科	7,650,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
E-カドヘリンプロセス分子のNaked DNAを用いた口腔癌の遺伝子治療法の開発	林堂 安貴	顎・口腔外科	2,400,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
FGF23シグナルを分子標的とした歯・骨疾患治療のための基盤研究	南崎 朋子	小児歯科	200,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
FGF結合蛋白HBp17/FGF-BPを標的にした口腔癌の分子標的治療の開発研究	新谷 智章	顎・口腔外科	2,100,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
MDS/AMLの多段階発症・進展機構における、AML1遺伝子変異の役割解明	原田 浩徳	血液内科	1,700,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
PTSDモデルラットを用いた本障害の発症脆弱性や新規治療法開発の研究	小鶴 俊郎	精神科	1,350,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
VEGF-Cによる上皮・間葉移行を介した扁平上皮癌の高度浸潤能獲得に関する研究	小野 重弘	口腔顎顔面再 建外科	1,500,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
VEGF受容体機能の解析および受容体中和抗体による骨吸収抑制効果の検討	本川 雅英	矯正歯科	1,600,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
WNTシグナル系伝達因子群を標的とした口腔癌の分子診断・治療法の開発研究	小林 雅史	顎・口腔外科	1,900,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
アルツハイマー型認知症と歯の喪失・咬合の関連における分子生物学的探求	赤川 安正	口腔インプラ ント診療科	1,100,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
インテリジェントゲル・bFGF複合体による新しいインプラントGBR法の開発	赤川 安正	口腔インプラ ント診療科	10,500,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
インプラント追加埋入のための骨モデリングを応用する新しい骨質改善法	是竹 克紀	口腔インプラ ント診療科	1,100,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
エピジェネティクスと大脳白質微細構造によるうつ病発症・難治化の機序解明	森信 繁	精神科	3,900,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
カルシウム結合タンパクS100発現制御による歯周炎予防法の開発	内田 雄士	歯周診療科	1,500,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
カンジダ症で口腔粘膜細胞より誘導される特異的蛋白の同定とその意義	太田 耕司	口腔顎顔面再 建外科	1,200,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
がん長期生存者とその家族の精神的健康	佐伯 俊成	総合内科・総 合診療科	900,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金

計18

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
クロマチン・リモデニングからみた新たなうつ病の病態解明と治療法開発の糸口発見	山脇 成人	精神科	1,850,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
コルチコステロイド結合蛋白高発現と侵襲性歯周炎の感受性との関わりについて	栗原 英見	歯周診療科	2,200,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
スペイン・ダイナミクスの障害を基盤とした難治性うつ病の病態解明と新規治療法開発	森信 繁	精神科	1,500,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
スポンデインによる歯周組織再生応用への検討	北川 雅恵	口腔顎顔面再建外科	1,700,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
テロメラーゼ遺伝子導入による不死化豚島を用いた豚島移植胃粘膜下注入法	首藤 毅	消化器外科	1,100,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
テロメラーゼ阻害剤封入磁性体リポソームと外磁場による骨・軟部肉腫ターゲット治療	松尾 俊宏	整形外科	900,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
ヒト骨髄間葉系幹細胞から樹立した細胞株:ヒトがん幹細胞株か?	檜山 英三	小児外科	3,700,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
ヒト骨髄由来間葉系細胞を用いた安全・安心な細胞治療を行うための基盤整備研究	岡本 康正	顎・口腔外科	2,000,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
ヒト唾液腺腫瘍におけるCENP-H遺伝子の発現および機能解析	重石 英生	口腔顎顔面再建外科	900,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
ヒト胎盤トロフォブラスト合体化機序の解析:妊娠高血圧症候群発症病態の解明	工藤 美樹	産科婦人科	900,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
マクロファージ種認識分子CD遺伝子の異種臓器への導入効果による拒絶回避の戦略	井手 健太郎	移植外科	1,340,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
レーザー処理象牙質における最適照射条件の策定とポリ酸系接着材の新規開発	富士谷 盛興	歯科保存診療科	1,900,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
レプチンを用いた歯周組織再生療法の開発	水野 智仁	歯周診療科	1,500,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
炎症による子宮平滑筋イオンチャンネルの発現亢進と早産誘発機序に関する研究	三好 博史	産科婦人科	1,700,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
加齢黄斑変性症の発生機序におけるLOC387715遺伝子の役割	谷本 誠治	眼科	2,000,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
海洋生物由来抗腫瘍生理活性物質の探索と新規抗癌剤開発への応用を目指した基礎的研究	吉岡 幸男	顎・口腔外科	1,700,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
外因刺激に対する下顎頭軟骨各層の応答と進行性下顎頭吸収との関わり	丹根 一夫	矯正歯科	6,400,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
外来刺激による顎堤骨吸収機構の解明と補綴処置前抑制法の開発	牧平 清超	咬合・義歯診療科	4,900,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
各種老化因子制御による加齢性内耳障害の予防・治療に関する基礎的、臨床的研究	工田 昌也	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,800,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
顎関節症の発現に性ホルモンが及ぼす影響について	藤田 正	矯正歯科	1,500,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
顎顔面骨格の成長発育に及ぼす性ホルモンと成長因子の影響	大谷 淳二	矯正歯科	1,350,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
顎骨海綿骨微細構造の評価に基づいた骨粗鬆症診断支援システムの構築	中元 崇	歯科放射線科	500,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
顎骨骨幹異形成症(GDD)の原因遺伝子GDD1の機能解析	水田 邦子	口腔顎顔面再建外科	1,800,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
活性化NK細胞移入療法によるC型肝炎の移植後再発防止法の開発	大段 秀樹	移植外科	1,300,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
活性酸素応答ホスファターゼに連関した細胞シグナル制御機構	米田 真康	内分泌・糖尿病内科	50,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
幹細胞移植による骨・軟骨再生と顎裂閉鎖治療への応用	谷本 幸太郎	矯正歯科	2,200,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
看護師による外来化学療法中のがん患者の精神症状評価システム構築に関する研究	小早川 誠	精神科	700,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
間質性肺炎・薬剤性肺障害の臨床像とゲノム解析の日欧比較研究	河野 修興	呼吸器内科	2,600,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
間葉系幹細胞の増殖能をもつ塩基性抗菌ペプチドJH8194の固定化と骨分化能の解析	二川 浩樹	咬合・義歯診療科	9,500,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
局所リン酸代謝調節に基づく新規の骨・歯科疾患治療の基礎的研究	南崎 朋子	小児歯科	1,340,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
血管性うつ病の認知機能障害に関する脳機能画像研究	岡田 剛	精神科	1,900,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
原爆被爆者における緑内障と網膜細胞脈硬化との関連	横山 知子	眼科	2,100,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
口腔乾燥症に用いる生薬配合口腔内潤滑補助剤の開発	香川 和子	咬合・義歯診療科	1,300,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
口腔癌における癌幹細胞の分離・同定と同細胞を標的とした新しい診断・治療法の開発	岡本 哲治	顎・口腔外科	8,000,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
口腔癌の浸潤・転移を制御する上皮・間葉移行とp63発現機構の解明	東川 晃一郎	口腔顎顔面再建外科	1,900,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
口腔内組織をソースとした歯槽骨再生用幹細胞の探索	井上 俊二	咬合・義歯診療科	1,300,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
口腔扁平上皮癌の浸潤に関わる新規因子の機能および診断への応用の可能性	工藤 保誠	口腔顎顔面再建外科	2,000,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
口腔扁平上皮癌細胞の浸潤・転移における腫瘍間質内骨髄由来間葉系幹細胞の機能解析	石田 康隆	顎・口腔外科	1,300,000	補委 文部科学省科学研究費補助金

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額		補助元又委託元
高度インプラント診断治療統合システムのためのマルチフィジックスシミュレータの開発	日浅 恭	口腔インプラント診療科	1,880,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
骨格筋細胞のカルシウム動態解析による悪性高熱症発症機序の解明と素因診断	河本 昌志	麻酔・疼痛治療科	2,640,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
骨髄間葉系幹細胞の分化誘導シグナルとなる担体の研究	林田 浩一	障害者歯科	1,800,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
細胞周期調節因子のリン酸化状態と細胞内局在によるEGFR阻害剤の効果予測	山崎 文之	脳神経外科	1,220,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
酸化ストレス制御による椎間板のアンチエイジング	田中 信弘	消化器・代謝内科	2,500,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
酸化ストレス防御反応を制御する転写因子Bach1の機能の臨床評価	石田 隆史	循環器内科	600,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
指尖毛細血管採血による血漿抗体価測定を用いた歯周病細菌感染度の判定法の研究	日野 孝宗	歯周診療科	362,700	補 委	文部科学省科学研究費補助金
歯周疾患におけるストレス誘導性タンパク質の関与	島津 篤	予防歯科	1,800,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
歯周組織におけるマレイン酸イルソグラジンの抗炎症作用の解析	藤田 剛	歯周診療科	1,600,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
歯周組織における加齢メカニズムの解明と抗加齢医療への試み	田中 伸明	むし歯・変色歯診療科	2,500,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
歯周組織由来細胞におけるストレス応答性タンパク質MICAの発現に関する研究	島津 篤	予防歯科	350,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
歯周病における非翻訳RNAの統合的機能解析—細菌と宿主細胞との相互作用を中心に	西村 英紀	むし歯・変色歯診療科	650,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
歯周病原性菌(A. a)の産生する未知のピルレンス因子	鈴木 淳司	小児歯科	700,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
歯周病原性菌の小児口腔内への伝播機序の解明と成人性歯周炎予防対策への展開	香西 克之	小児歯科	2,700,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
歯髄・根尖部歯周組織の創傷治療メカニズムの解明と再生療法への応用	柴 秀樹	歯周診療科	650,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
磁気ターゲティング法を用いた半月板修復の基礎的研究	山崎 琢磨	整形外科	1,200,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
自己認知と情動の神経基盤に関する脳機能画像解析研究	岡本 泰昌	精神科	1,400,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
自己由来細胞の機能制御による顎骨再生医療の開発	西村 正宏	咬合・義歯診療科	3,600,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
腫瘍間質を標的とした胃癌に対する新しい治療法の開発	北台 靖彦	消化器・代謝内科	1,400,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
術中回収血中の前駆・幹細胞による自己の細胞を利用した四肢の血管・骨再生	安永 裕司	整形外科	3,700,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
衝動性と将来報酬予測機能における脳内セロトニンの役割	山脇 成人	精神科	4,800,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
上皮・間葉移行の解明による口腔癌の浸潤転移の制御	鎌田 伸之	口腔顎顔面再建外科	2,300,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
常染色体劣性脊髄小脳変性症の新規遺伝子	川上 秀史	脳神経内科	5,500,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
情動-認知機能制御の脳内基盤とその障害に関する脳機能画像解析研究	山脇 成人	精神科	9,940,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
食物の物性により異なる咀嚼性刺激が顎骨および咀嚼筋の成長発育に及ぼす影響	川合 暢彦	矯正歯科	1,330,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
信頼性の確率したGal完全ノックアウトブタを用いたブタ・サル間異種腎・膵島移植	大段 秀樹	移植外科	650,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
新規に発見されたリアノジン受容体遺伝子変異の機能解析	安田 季道	麻酔・疼痛治療科	1,400,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
新規多孔質セラミックスの骨形成発現メカニズムの細胞および遺伝子レベルでの解析	二宮 嘉昭	口腔顎顔面再建外科	2,700,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
神経芽腫のがん幹細胞研究:分化・退縮と発生・増殖・進展の二極化規定因子か?	檜山 英三	小児外科	8,600,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
神経剤の循環器系における非コリン性毒性作用の解析	吉栖 正生	循環器内科	300,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
人工無重力を利用した神経細胞誘導と脊髄損傷への応用	栗栖 薫	脳神経外科	1,200,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
人工無重力下で大量培養した間葉系幹細胞による虚血性損傷脳治療法の最適化	松本 昌泰	脳神経内科	6,950,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
睡眠時無呼吸症候群における歯列への副作用の少ない口腔内装置の臨床応用	上田 宏	矯正歯科	3,200,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
先天性頭蓋・顎・顔面の骨、軟骨異常におけるコレステロール合成系の機能解析研究	福井 康人	顎・口腔外科	400,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
前立腺癌のホルモン依存性消失におけるFGF受容体の関わりと新しい治療法への応用	松原 昭郎	泌尿器科	2,450,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
全身麻酔要素である鎮痛・不動化作用におけるサブスタンスPの役割	入船 正浩	歯科麻酔科	3,000,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
早産児に頻発するPVLの発症における非選択性陽イオンチャンネルの関与	中前 里香子	産科婦人科	1,600,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
造血幹細胞表面抗原修飾による骨髄生着促進の機構解析	小林 正夫	小児科	1,400,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額		補助元又委託元
多機能分子としてのLL37の歯周炎予防と歯周組織再生における有用性	柴 秀樹	歯周診療科	1,430,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
多血小板血漿を用いた細胞増殖因子の標的治療による骨再生	下瀬 省二	整形外科	1,800,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
唾液腺腫瘍の病理診断標準化のための組織学的ならびに分子生物学的研究	小川 郁子	口腔顎顔面再 建外科	1,700,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
唾液中クロモグラニンを指標とした精神的ストレス量と口腔習癖の関連性	安部倉 仁	咬合・義歯診 療科	1,100,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
体性感覚活動磁界計測による異常感覚の可視化	中西 一義	整形外科	1,700,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
胎盤絨毛由来のマスピン遺伝子を利用した、新たな妊娠合併症予知マーカーの検討	兵頭 麻希	産科婦人科	800,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
短縮歯列への補綴介入に関するマルチセンター・リサーチ	赤川 安正	口腔インプラ ント診療科	1,235,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
中心体過剰複製・染色体不安定性の誘導による悪性グリオーマの放射線増感機序の解明	栗栖 薫	脳神経外科	5,300,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
動脈硬化におけるDNA二重鎖切断とその修復機構の役割の解明	石田 万里	循環器内科	1,800,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
同系ラット慢性疼痛モデルに対する骨髄幹細胞移植の効果	木村 浩彰	整形外科	30,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
内視鏡外科手術における非接触剛性イメージャーの開発とその臨床応用	宮田 義浩	呼吸器外科	1,350,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
内分泌攪乱物質が発達期の脳ドパミン神経系に及ぼす影響	光畑 智恵子	小児歯科	1,600,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
難治性呼吸器疾患に対してCRNA干渉の治療応用を試みる基礎的研究	服部 登	呼吸器内科	1,000,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
難治性口腔粘膜疾患発生に関する粘膜上皮・真皮における免疫応答の細胞生物学的研究	西 裕美	口腔顎顔面再 建外科	2,300,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
難治性慢性疼痛の症状特異性と心理社会的要因における定量的評価～MEGとf-MRI	土井 充	歯科麻酔科	3,200,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
日本小児肝がんスタディグループにおける治療戦略のための分子基盤の構築	山岡 裕明	小児外科	3,300,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
脳磁図と拡散MRIを用いた、嚥下障害患者の認知障害に対する治療法の開発	長崎 信一	歯科放射線科	2,800,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
脳由来神経栄養因子と高分子ヒアルロン酸を用いた歯周組織再生治療薬の開発	武田 克浩	歯周診療科	1,700,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
脳由来神経栄養因子を用いた歯周組織再生療法の確立	栗原 英見	歯周診療科	5,000,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
脳由来神経栄養因子を用いた歯周組織再生療法の臨床応用に関する研究	長谷川 直彦	歯周診療科	1,600,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
破骨細胞分化誘導に対する血管内被細胞増殖因子受容体機能の解析	加来 真人	矯正歯科	1,900,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
肺癌の縦隔リンパ節転移抑制を目指す治療法開発のための基礎的研究	近藤 丈博	救急科	1,300,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
肺癌の人種的な差異の解明と新たな治療戦略の開発	石川 暢久	呼吸器内科	2,200,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
肺癌細胞の無限増殖を抑制する新たな分子標的の策定	檜山 桂子	呼吸器内科	1,300,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
白血病幹細胞活性を規定するポリコム遺伝子群の下流遺伝子解析と薬剤耐性機序の解析	三原 圭一朗	血液内科	2,500,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
部分床義歯デザインプロセスのための咬合支持能力指数の開発	田地 豪	口腔インプラント診療科	1,900,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
腹腔鏡手術は低侵襲か？－炭酸ガス気腹による細胞機能変化の分子生物学的解析－	池田 聡	消化器外科	1,580,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
分泌蛋白または膜蛋白のスクリーニングによる新規口腔癌バイオマーカーの同定	三谷 佳嗣	口腔顎顔面再建外科	1,300,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
変形性膝関節症に対する再生医療の確立－Wnt刺激による軟骨再生の促進－	安達 伸生	整形外科	2,000,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
変形性膝関節症の関節軟骨におけるmiRNA-146の発現	中佐 智幸	整形外科	1,300,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
片肺換気における虚脱肺の管理方法	安氏 正和	麻酔・疼痛治療科	800,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
補綴治療の抗加齢作用を増強する機能レーザーチャートの新開発	津賀 一弘	口腔インプラント診療科	2,300,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
放射性微小球を用いた肝腫瘍に対する内照射療法の開発	永田 靖	放射線治療科	65,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
放射線照射メダカによる骨代謝障害予防法の開発	澤尻 昌彦	歯科放射線科	1,900,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
慢性心房細動の術中簡易電気生理診断法の確立と内視鏡等を含む低侵襲術式の開発	今井 克彦	心臓血管外科	1,900,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
無血清再集合培養法を用いたマウスES細胞及びヒト骨髄幹細胞からの顎骨・歯胚誘導	岡本 哲治	顎・口腔外科	2,350,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
模倣におけるアスペルガー障害児の脳血流変化と社会的スキルの関連についての検討	山崎 あい子	小児科	1,100,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
咬合の維持・回復による嚥下機能のアンチエイジング	吉川 峰加	口腔インプラント診療科	1,100,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額		補助元又委託元
特発性大腿骨頭壊死症の予防と治療の標準化を目的とした総合研究	安永 裕司	整形外科	1,000,000	補委	厚生労働省科学研究費補助金
がん治療のための革新的新技術の開発に関する総合的な研究	永田 靖	放射線治療科	4,622,000	補委	厚生労働省科学研究費補助金
膝痛患者に対する3.0テスラMRIを用いたの高精度画像診断技術の確立と膝痛の増悪因子の解明に関する研究	越智 光夫	整形外科	20,000,000	補委	厚生労働省科学研究費補助金
画像によるがんの診断、治療法選択、治療効果判定に関する研究	岡田守人	呼吸器外科	1,000,000	補委	厚生労働省科学研究費補助金
再発高危険群の大腸がんに対する術後補助療法の確立に関する研究	岡島 正純	消化器外科	1,750,000	補委	厚生労働省科学研究費補助金
精神療法の実施方法と有効性に関する研究	岡本 泰昌	精神科	3,800,000	補委	厚生労働省科学研究費補助金
びまん性肺疾患に関する調査研究	河野 修興	呼吸器内科	1,800,000	補委	厚生労働省科学研究費補助金
日本人の緑内障に対する有効な予防と治療 臨床的・基礎的エビデンスの確立	金本 尚志	眼科	5,000,000	補委	厚生労働省科学研究費補助金
免疫性神経疾患に関する調査研究	郡山 達男	脳神経内科	900,000	補委	厚生労働省科学研究費補助金
がんの診療科データベースとJapanese National Cancer Database(JNCDB)の運用と構築	権丈 雅浩	放射線治療科	700,000	補委	厚生労働省科学研究費補助金
放射線治療システムの精度管理と臨床評価に関する研究	権丈 雅浩	放射線治療科	1,000,000	補委	厚生労働省科学研究費補助金
前庭機能異常に関する調査研究	工田 昌也	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,000,000	補委	厚生労働省科学研究費補助金
ヒト肝細胞キメラマウスを用いた治療抵抗性の肝炎に関する研究	今村 道雄	消化器・代謝内科	6,000,000	補委	厚生労働省科学研究費補助金
がん医療の均てん化に資するがん診療連携拠点病院の機能強化に関する研究	佐伯 俊成	総合内科・総合診療科	4,000,000	補委	厚生労働省科学研究費補助金
関節リウマチ上肢人工関節開発に関する研究	砂川 融	整形外科	1,300,000	補委	厚生労働省科学研究費補助金
日本人における動脈硬化性大動脈弁膜疾患の発症・進展予防に関する研究	山本 秀也	循環器内科	1,500,000	補委	厚生労働省科学研究費補助金
難治性うつ病の治療反応性予測と客観的診断法に関する生物・心理・社会的統合研究	山脇 成人	精神科	30,000,000	補委	厚生労働省科学研究費補助金
アトピー性皮膚炎のかゆみの解明と治療の標準化に関する研究	秀 道広	皮膚科	2,000,000	補委	厚生労働省科学研究費補助金
原発性免疫不全症候群に関する調査研究	小林 正夫	小児科	1,500,000	補委	厚生労働省科学研究費補助金

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
重症難病患者の地域医療体制の構築に関する研究	松本 昌泰	脳神経内科	900,000	厚生労働省科学研究費補助金
難治性うつ病の治療反応性予測と客観的診断法に関する生物・心理・社会的統合研究	森信 繁	精神科	4,000,000	厚生労働省科学研究費補助金
悪性神経膠腫に対するTemozolomideの治療効果を増強した標準治療確立に関する研究	杉山 一彦	脳神経外科	600,000	厚生労働省科学研究費補助金
治験の実施に関する研究 [L-アレルギー]	但馬 剛	小児科	1,000,000	厚生労働省科学研究費補助金
救急医療体制の推進に関する研究	谷川 攻一	救急科	900,000	厚生労働省科学研究費補助金
HIV感染症に合併する各種疾病に関する研究	茶山 一彰	消化器・代謝内科	69,334,000	厚生労働省科学研究費補助金
糖尿病冠動脈疾患患者における、積極的脂質低下療法、降圧療法に関する臨床試験計画作成	東 幸仁	循環器内科	650,000	厚生労働省科学研究費補助金
HIV診療支援ネットワークを活用した診療連携の利活用に関する研究	藤井 輝久	血液内科	3,500,000	厚生労働省科学研究費補助金
進行肝細胞癌に対する集学的治療確立に関する研究	板本 敏行	移植外科	1,500,000	厚生労働省科学研究費補助金
がん生物像を規定するがん組織微小環境に関する研究	北台 靖彦	消化器・代謝内科	1,200,000	厚生労働省科学研究費補助金
脊髄障害防止の観点からみた胸部下行・胸腹部大動脈瘤外科治療ないしはステントグラフト治療体系の確立	末田 泰二郎	心臓血管外科	500,000	厚生労働省科学研究費補助金
多列CTを用いた冠動脈プラークの性状判定と冠動脈イベント発症との関連についての多施設・前向き追跡調査	木原 康樹	循環器内科	9,800,000	厚生労働省科学研究費補助金
HIV感染症の医療体制の整備に関する研究	木村 昭郎	血液内科	5,000,000	厚生労働省科学研究費補助金
医薬品の使用成績に基づく有効性、安全性の評価方法に関する研究	木平 健治	薬剤部	400,000	厚生労働省科学研究費補助金
遠隔診断の技術を用いたがんの病理診断支援のあり方に関する研究	有廣 光司	病理部	1,800,000	厚生労働省科学研究費補助金
幹細胞自動培養装置用自動洗浄機能付インキュベーターの開発	栗原 英見	歯周診療科	315,000	株式会社ツーセル
緑内障診断能を向上させる新たな画像処理アルゴリズムの開発	曾根 隆志	眼科	855,000	財団法人ひろしま産業振興機構
ゾニサミドの神経保護効果に関する研究	松本 昌泰	脳神経内科	2,600,000	大日本住友製薬株式会社 薬理研究所
抗TGGT抗体を用いた動物試験	高田 隆	口腔検査センター	525,000	株式会社エーシーバイオテクノロジー

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
地域イノベーション創出研究開発事業 (ナノ表面改質による早期骨組織再生型多孔質インプラントの開発)	二川 浩樹	咬合・義歯診療科	12,680,850	補 委 財団法人ひろしま産業振興機構
地域イノベーション創出研究開発事業 (関節機能のFEM解析による診断・治療最適化システムの開発)	二川 浩樹	咬合・義歯診療科	1,939,350	補 委 財団法人ちゅうごく産業創造センター
重要課題解決型研究等の推進 アスベスト関連疾患への総括的取り組み	岡田 守人	呼吸器外科	12,840,079	補 委 文部科学省
歯学臨床系分野に関する学術動向の調査研究	岡本 哲治	顎・口腔外科	3,500,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会
ARBと利尿剤併用による血管内皮関連シグナル伝達系への影響	東 幸仁	循環器内科	2,730,000	補 委 萬有製薬株式会社
日本と台湾におけるHIVと肝炎ウイルス重複感染に対する対策	茶山 一彰	消化器・代謝内科	1,000,000	補 委 国立国際医療センター
気分障害の治療システムの開発と検証に関する研究	岡本 泰昌	精神科	1,100,000	補 委 国立精神・神経センター
胸部大動脈手術の術中における簡易な脊髄誘発電位測定用電極および測定装置	末田 泰二郎	心臓血管外科	2,620,000	補 委 独立行政法人 科学技術振興機構
吹き流し型デバイスを用いた大動脈解離治療器具の開発に関する研究	渡橋 和政	心臓血管外科	2,431,000	補 委 独立行政法人科学技術振興機構
周術期経食道心エコー及び肺動脈カテーテルの疾患別適応ガイドライン作成	渡橋 和政	心臓血管外科	1,200,000	補 委 国立循環器病センター
歯科領域における薬剤流出人工骨の研究	赤川 安正	口腔インプラント診療科	3,800,000	補 委 独立行政法人医薬基盤研究所
新規siRNAテクノロジーを用いたC型肝炎の画期的治療法の開発 平成20年度「ヒト肝炎モデルでのVE-siRNA/CMの有用性の研究」	茶山 一彰	消化器・代謝内科	10,000,000	補 委 独立行政法人医薬基盤研究所
顎・口腔機能の診断・オペ支援用有限要素解析システムの開発	二川 浩樹	咬合・義歯診療科	1,000,000	補 委 財団法人ちゅうごく産業創造センター
顎関節症治療への低出力超短波の応用	谷本 幸太郎	矯正歯科	1,000,000	補 委 財団法人ちゅうごく産業創造センター
歯科インプラントを可能にするためのMSCによる歯槽骨増生法の開発	西村 正宏	咬合・義歯診療科	1,000,000	補 委 財団法人ちゅうごく産業創造センター
ヒト肝細胞遺伝子改変キメラマウスの開発	茶山 一彰	消化器・代謝内科	2,000,000	補 委 財団法人 ひろしま産業振興機構
①難病ネットワークの構築に関する研究 ②小児難病ネットワーク構築に関する研究	松本昌泰 小林正夫	脳神経内科	1,138,000	補 委 広島県・広島市
中国・四国ブロックエイズ歯科医療システム構築に関する調査研究	吉野 宏	歯周診療科	3,000,000	補 委 広島県
中国・四国ブロックエイズ医療システム構築に関する調査研究	高田 昇	血液内科	14,000,000	補 委 広島県

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
肝疾患診療支援体制の確立に関する研究	茶山 一彰	消化器・代謝内科	6,728,400	補 委 広島県
乳がん総合対策プロジェクト事業(専門医育成プラン基本設計)	村上 茂	乳腺外科	500,000	補 委 広島県
原爆体験が身体的・精神的健康に及ぼす影響に関する研究(業務名:原爆体験による精神的影響等に関する研究関連業務)	佐伯 俊成	総合内科・総合診療科	987,000	補 委 広島市
開業歯科医院に普及可能な顎骨髄採取法および採取した間葉系幹細胞の培養・保存法の開発	西村 正宏	咬合・義歯診療科	1,190,000	補 委 株式会社ツーセル
新規培養法による造血幹細胞の体外増幅の開発	梶梅 輝之	小児科	2,000,000	補 委 独立行政法人科学技術振興機構 JSTイノベーションプラザ広島
歯科インプラント治療のためのγ GTPを用いた診断システムの構築と新規治療法の開発	宮内 睦美	口腔顎顔面再建外科	1,995,300	補 委 独立行政法人科学技術振興機構 JSTイノベーションプラザ広島
乳幼児における汗過敏性試験	秀 道広	皮膚科	567,081	補 委 ユニ・チャーム株式会社
肺炎による急性呼吸不全患者の実態調査	谷川 攻一	救急科	325,000	補 委 小野薬品工業株式会社
慢性副鼻腔炎におけるカルボシステインの併用効果(GETS Study)	平川 勝洋	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	2,744,060	補 委 杏林製薬株式会社
虚血性脳卒中患者における血管イベントの発症率に関する前向き観察研究(Effective Vascular Event Reduction after Stroke, EVEREST)	大槻 俊輔	脳神経内科	250,000	補 委 サノフィ・アベンティス株式会社, イービーエス株式会社
NOTES Tool Boxの安全性、有効性の検証	岡島 正純	消化器外科	2,113,020	補 委 ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 メディカルカンパニー
クロマチン構造の制御に基づいた新たなPTSD治療戦略の開発	森信 繁	精神科	780,000	補 委 独立行政法人科学技術振興機構
脳画像解析法を用いた難治性うつ病の病態解明と新規診断法の開発	岡本 泰昌	精神科	18,525,000	補 委 独立行政法人科学技術振興機構
難治性うつ病の病態機序の解明と新規診断法の開発に関する基礎・臨床的研究	山脇 成人	精神科	29,614,000	補 委 独立行政法人科学技術振興機構
「インスリン抵抗性・食後高血糖改善による心筋梗塞再発予防に関する大規模薬剤介入試験」(略名J-WIND2)	茶山 一彰	消化器・代謝内科	26,000	補 委 ヒュービットジェノミクス株式会社
脳梗塞ハイリスク例における経口糖尿病薬の脳心血管イベント一次予防効果の検討(PROFIT-J研究)	山根 公則	内分泌・糖尿病内科	52,500	補 委 財団法人循環器病研究振興財団
経口糖尿病薬による糖尿病からの離脱および動脈硬化抑制研究(PREVENT-J研究)	山根 公則	内分泌・糖尿病内科	210,000	補 委 財団法人循環器病研究振興財団
「食品素材の血管内皮機能への影響に関する研究」	東 幸仁	循環器内科	7,650,000	補 委 アサヒビール株式会社
眼表面に対するプロスタグランジン関連眼圧下降薬ラタノプロストおよびトラボプロストの影響	金本 尚志	眼科	1,167,000	補 委 財団法人パブリックヘルスリサーチセンター, 株式会社イービーエムズ

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
本邦における低用量アスピリンによる上部消化管合併症に関する調査研究 - 心筋梗塞, 脳梗塞患者などの動脈血栓塞栓性患者を対象として-(略称: MAGIC研究)	松本 昌泰	脳神経内科	1,600,000	補 ⑤委 財団法人循環器病研究振興財団, 株式会社バイオメデイスインターナショナル
初回TS-1療法に治療抵抗性を示した進行・再発胃癌に対する二次化学療法-CPT-11単独療法 vs TS-1+CPT-11併用化学療法の無作為化比較第Ⅱ/Ⅲ相臨床試験-	岡田 守人	呼吸器外科	464,100	補 ⑤委 特定非営利活動法人日本がん臨床試験推進機構
初回TS-1療法に治療抵抗性を示した進行・再発胃癌に対する二次化学療法-CPT-11単独療法vsTS-1+CPT-11併用化学療法の無作為化比較第Ⅱ/Ⅲ相臨床試験-	大段 秀樹	移植外科	1,160,250	補 ⑤委 特定非営利活動法人日本がん臨床試験推進機構
頭頸部扁平上皮癌根治治療後のTS-1補助化学療法の検討 -多施設無作為化比較試験-	平川 勝洋	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	136,500	補 ⑤委 財団法人先端医療振興財団
日本における薬剤溶出型ステントの無作為臨床試験(J-DESSERT)	木原 康樹	循環器内科	1,800,000	補 ⑤委 特定非営利活動法人インターベンションのエビデンスを創る会, メビックス株式会社
ピタバスタチンの耐糖能異常者に対する糖尿病発症予防試験(J-PREDICT)	山根 公則	内分泌・糖尿病内科	5,500,000	補 ⑤委 J-PREDICT研究代表者, J-PREDICT事務局支援業務受託会社 メビックス株式会社
[Randomized Controlled Trial of Transcatheter Arterial Chemoembolization for Hepatocellular Carcinoma-Cisplatin versus Epirubicin-(ACE 500 study)]	大段 秀樹	移植外科	1,500,000	補 ⑤委 肝癌ACE研究会, ACE500 study 試験支援業務受託会社 メビックス株式会社
Stage II 大腸癌に対する術後補助化学療法に関する研究」第Ⅲ相臨床試験	岡島 正純	消化器外科	1,365,000	補 ⑤委 財団法人先端医療振興財団
Stage II 大腸癌における分子生物・病理学的マーカーによる再発high-risk群とフッ化ピリミジン感受性群の選択に関する研究	岡島 正純	消化器外科	682,500	補 ⑤委 財団法人先端医療振興財団
StageⅢ結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのUFT/Leucovorin療法とTS-1療法の第Ⅲ相比較臨床試験および遺伝子発現に基づく効果予測因子の探索的研究	岡島 正純	消化器外科	4,095,000	補 ⑤委 財団法人先端医療振興財団
放屁, 便臭の効果的な消臭法	大毛 宏喜	消化器外科	550,000	補 ⑤委 スパッタ株式会社
ひとB, C型肝炎ウイルス感染, 慢性肝疾患モデルの創生	茶山 一彰	消化器・代謝内科	5,425,000	補 ⑤委 三菱ウェルファーマ株式会社
CT/MRI画像解析ソフトウェアに関する開発・評価	伊藤 勝陽	放射線治療科	50,000	補 ⑤委 株式会社AZE
神経細胞を介したマスト細胞の活性化機序の解析と抗アレルギー薬による抑制効果の検討	秀 道広	皮膚科	440,000	補 ⑤委 協和発酵工業株式会社医薬マーケティングセンター
麦門冬湯のCOPD患者の咳嗽に対する効果の検討	河野 修興	呼吸器内科	1,232,000	補 ⑤委 株式会社ツムラ
大腸癌移植モデルマウスを用いた血中アミンogram測定	北台 靖彦	消化器・代謝内科	1,000,000	補 ⑤委 味の素株式会社ライフサイエンス研究所

計16

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額		補助元又委託元
矯正用インプラントをもちいた組織学的研究	丹根 一夫	矯正歯科	440,000	補 委	株式会社プロシード
超音波による血管再生	東 幸仁	循環器内科	420,000	補 委	日本シグマックス株式会社
タンニン酸配合剤のヒトでの効果の検証およびスキンケア製品関連研究	秀 道広	皮膚科	1,000,000	補 委	ツムラ ライフサイエンス株式会社
β-カロテン及びビタミンCの皮膚炎抑制効果に関する研究	秀 道広	皮膚科	500,000	補 委	カゴメ株式会社
診断技術又は薬剤に関する研究に利用可能なインターフェロンの治療効果に関連する遺伝子のSNP解析による探索及び機能解析	茶山 一彰	消化器・代謝内科	15,000,000	補 委	独立行政法人理化学研究所, 大日本住友製薬株式会社
BDNFを用いた歯周再生に関する研究	栗原 英見	歯周診療科	4,000,000	補 委	株式会社ツーセル
「材料表面の抗菌防臭加工処理剤」を使用した環境負荷低減商品の開発・販売	二川 浩樹	咬合・義歯診療科	600,000	補 委	中国鉄管継手株式会社
乳幼児における汗過敏感症調査	秀 道広	皮膚科	1,650,000	補 委	ユニ・チャーム株式会社
HCV感染ヒト肝細胞キメラマウスにおけるME3738の作用研究	茶山 一彰	消化器・代謝内科	10,000,000	補 委	明治製菓株式会社
ヒトB, C型肝炎ウイルス感染, 慢性肝疾患モデルの創生	茶山 一彰	消化器・代謝内科	5,425,000	補 委	田辺三菱製薬株式会社
次世代の運動器再生治療法の社会普及	越智 光夫	整形外科	3,300,000	補 委	株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング
パノラマX線画像を用いた骨粗鬆症診断装置の開発に関する研究	谷本 啓二	歯科放射線科	1,650,000	補 委	朝日レントゲン工業株式会社
心臓血管領域における低被ばく撮影の有用性の検討	堀口 純	放射線診断科	209,000	補 委	ジーイー横河メディカルシステム株式会社
慢性肝疾患関連遺伝子研究	茶山 一彰	消化器・代謝内科	2,100,000	補 委	独立行政法人理化学研究所
J-STARSをモデルとした大規模臨床試験実施基盤の構築に関する研究	松本 昌泰	脳神経内科	319,000,000	補 委	財団法人先端医療振興財団
凍結含浸法に合った規格基準の作成	谷本 啓二	歯科放射線科	1,200,000	補 委	財団法人ひろしま産業振興機構
凍結含浸法に合った規格基準の作成	木村 浩彰	整形外科	800,000	補 委	財団法人ひろしま産業振興機構
地域緩和ケア支援事業(デイホスピス)	越智 光夫	整形外科	1,200,000	補 委	広島県

計18
計242

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Gastroenterol 43(4):pp.298-304,2008,5	Advanced glycation end products enhance the proliferation and activation of hepatic stellate cells	田妻 進 岩本 慶子	他 総合内科・総合診療科
Metabolism 57(12):pp.1711-1718,2008,12	Efficacy of atorvastatin for the treatment of nonalcoholic steatohepatitis with dyslipidemia	兵庫 秀幸	他 総合内科・総合診療科
Clin Gastroenterol 1:pp.87-92,2008	Recent understanding of cholesterol gallstone pathogenesis:implication to non-surgical therapeutic strategy	田妻 進	総合内科・総合診療科
J Gastroenterol Hepatol 23(7pt2):pp.198-206,2008.9	Cytoprotective effect of tauroursodeoxycholate on hepatocyte apoptosis induced by peroxisome proliferator-activated receptor gamma ligand.	田妻 進 野中 裕広	他 総合内科・総合診療科
Atherosclerosis 198:pp.468-476,2008	Psychosocial job characteristics and plasma fibrinogen in Japanese male and female workers: the Jichi Medical School Cohort study	Hirokawa K	他 総合内科・総合診療科
J Gastroenterol 44(7):pp.781-792,2009	Clinical efficacy of intravenous ciprofloxacin in patients with biliary tract infection: a randomized controlled trial with carbapenem as comparator	田妻 進	他 総合内科・総合診療科
Endogenous Toxins 2(2):pp.577-593,2009	23 Serum Advanced Glycation End Products Associated with NASH and Other Liver Diseases	兵庫 秀幸	他 総合内科・総合診療科
J Hepatol 50(6):pp.1226-1235,2009.3	Deletion of angiotensin II type I receptor reduces hepatic steatosis.	田妻 進 鍋島 由宝	他 総合内科・総合診療科
Dig Dis Sci 54(11):pp.2385-2390.2009.12	Comparing the acid-suppressive effects of three brands of generic lansoprazole with the original: pharmacokinetic bioequivalence tests do not necessarily guarantee pharmacodynamic equivalence	島谷 智彦	他 総合内科・総合診療科
FESEB J 22:pp.2579-2590,2008	Regulation of energy substrate utilization and hepatic insulin sensitivity by phosphatidylcholine transfer protein/StarD2.	Scapa EF	他 総合内科・総合診療科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
World J Gastroenterol.28;14(16):2602-8,2008.4	Systemic gemcitabine combined with intra-arterial low-dose cisplatin and 5-fluorouracil for advanced hepatocellular carcinoma: seven cases.	宇賀 公宣	他 消化器・代謝内科
Oncology.75(1-2):8-16,2008.8	Combination therapy of oral fluoropyrimidine anticancer drug S-1 and interferon alpha for HCC patients with extrahepatic metastases.	宇賀 公宣	他 消化器・代謝内科
Gastrointest Endosc.69(3 Suppl):631-6,2009.3	Narrow-band imaging magnification predicts the histology and invasion depth of colorectal tumors.	Kanao H, Tanaka S, Chayama K.	他 消化器・代謝内科
Hepatology Res.39(3):318-23,2009.3	The first Japanese case of COACH syndrome.	Mitsui F, Chayama K.	他 消化器・代謝内科
Gastroenterology.136(5):1796-805.e6,2009.3	A polymorphism in MAPKAPK3 affects response to interferon therapy for chronic hepatitis C.	Tsukada H, Chayama K.	他 消化器・代謝内科
Hepatology Res.39(2):134-42,2009.2	FDG positron emission tomography/computed tomography for the detection of extrahepatic metastases from hepatocellular carcinoma.	Kawaoka T, Chayama K.	他 消化器・代謝内科
Liver Transpl.15(2):208-15,2009.2	Significant correlation between spleen volume and thrombocytopenia in liver transplant patients: a concept for predicting persistent thrombocytopenia.	Ohira M, Chayama K, Asahara T, Ohdan H.	消化器・代謝内科
Gastrointest Endosc.69(6):1052-8,2009.3	Evaluation and validation of computed virtual chromoendoscopy in early gastric cancer.	Mouri R, Tanaka S, Chayama K.	他 消化器・代謝内科
Clin Cancer Res.1;15(1):256-66,2009.1	Involvement of epithelial cell transforming sequence-2 oncoantigen in lung and esophageal cancer progression.	Hirata D, Chayama K.	他 消化器・代謝内科
J Gastroenterol.43(12):982-9,2008	Beneficial effects of living-donor liver transplantation on esophageal varices.	Kawaoka T, Asahara T, Ito K, Chayama K.	他 消化器・代謝内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Am J Gastroenterol.104(1):251-2,2009.1	Trend in Japanese malpractice litigation involving gastrointestinal endoscopy.	Hiyama T, Yoshihara M, Tanaka S, Chayama K.	他 消化器・代謝内科
AJR Am J Roentgenol.192(1):122-30,2009.1	Evaluation of patients with esophageal varices after endoscopic injection sclerotherapy using multiplanar reconstruction MDCT images.	Kodama H, Chayama K.	他 消化器・代謝内科
J Gastroenterol Hepatol.24(3):366-71,2008.3	Dose comparison study of pegylated interferon-alpha-2b plus ribavirin in naïve Japanese patients with hepatitis C virus genotype 2: a randomized clinical trial.	Kawaoka T, Kawakami Y, Tsuji K, Ito H, Chayama K.	他 消化器・代謝内科
J Biomed Opt.;13(5):054043,2008.9	Optical biopsy of early gastroesophageal cancer by catheter-based reflectance-type laser-scanning confocal microscopy.	Nakao M, Tanaka S, Chayama K.	他 消化器・代謝内科
Int J Oncol.33(6):1187-94,2008.12	Expression of multidrug resistance-associated protein 2 is involved in chemotherapy resistance in human pancreatic cancer.	Noma B, Chayama K.	他 消化器・代謝内科
Metabolism.57(12):1711-8,2008.12	Efficacy of atorvastatin for the treatment of nonalcoholic steatohepatitis with dyslipidemia.	Hyogo H, Tazuma S, Chayama K.	他 消化器・代謝内科
Clin Cancer Res. 15;14(22):7205-14,2008.12	Vascular endothelial growth factor C stimulates progression of human gastric cancer via both autocrine and paracrine mechanisms.	Kodama M, Tanaka S, Chayama K.	他 消化器・代謝内科
Scand J Gastroenterol. 44(3):332-8,2009.3	Usefulness and limitations of transabdominal ultrasonography for detecting small-bowel tumors.	Fukumoto A, Tanaka S, Imagawa H, Chayama K.	他 消化器・代謝内科
Hypertens Res.31(7):1293-8,2008.7	Relationship between augmentation index and flow-mediated vasodilation in the brachial artery.	Soga J, Chayama K.	他 消化器・代謝内科
J Gastroenterol.43(9):641-51,2008.4	Colorectal endoscopic submucosal dissection: present status and future perspective, including its differentiation from endoscopic mucosal resection.	Tanaka S, Oka S, Chayama K.	他 消化器・代謝内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Am J Hypertens.21(11):1203-9,2008.11	Aging and hypertension are independent risk factors for reduced number of circulating endothelial progenitor cells.	Umemura T, Chayama K.	他 消化器・代謝内科
J Gen Virol. 89(Pt 9):2108-13,2008.9	Establishment of an infectious genotype 1b hepatitis C virus clone in human hepatocyte chimeric mice.	Kimura T, Chayama K.	他 消化器・代謝内科
Hiroshima J Med Sci.57(2):53-60,2008.6	Different role of macrophages and vascular smooth muscle cells in atherosclerotic lesions of Watanabe heritable hyperlipidemic (WHHL) rabbit between aorta and coronary artery.	Ohtani H, Chayama K.	他 消化器・代謝内科
Hypertens Res.31(6):1241-9,2008.6	Role of the angiotensin II type 2 receptor in arterial remodeling after wire injury in mice.	Yamamoto Y, Chayama K.	他 消化器・代謝内科
Hypertens Res.31(5):987-98,2008.3	Angiotensin II-induced osteopontin expression in vascular smooth muscle cells involves Gq/11, Ras, ERK, Src and Ets-1.	Abe K, Chayama K.	他 消化器・代謝内科
J Gastroenterol.43(7):550-7. Epub 2008 Jul 23,2008	Clinicopathological features of elderly patients with hepatitis C virus-related hepatocellular carcinoma.	Miki D, Asahara T, Chayama K.	他 消化器・代謝内科
J Gastroenterol Hepatol.23(8 Pt 1):1216-22,2008.8	Etiology and outcome of acute liver failure: retrospective analysis of 50 patients treated at a single center.	Hiramatsu A, Chayama K.	他 消化器・代謝内科
Clin Cardiol.31(7):310-6,2008.7	Coronary vasospasm produces reversible perfusion defects observed during adenosine triphosphate stress myocardial single-photon emission computed tomography.	Teragawa H, Chayama K.	他 消化器・代謝内科
Hypertens Res.31(4):783-92,2008.4	Ablation of the bach1 gene leads to the suppression of atherosclerosis in bach1 and apolipoprotein E double knockout mice.	Watari Y, Chayama K.	他 消化器・代謝内科
Nippon Rinsho.66(7):1305-11. Review. Japanese,2008.7	Diagnosis and treatment for benign small bowel tumor.	Fukumoto A, Tanaka S, Chayama K.	他 消化器・代謝内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Gastroenterol.43(5):332-7,2008	Relation between histologic gastritis and gastric motility in Japanese patients with functional dyspepsia: evaluation by transabdominal ultrasonography.	Matsumoto Y, Tanaka S, Chayama K.	他 消化器・代謝内科
World J Gastroenterol. 28;14(20):3123-8,2008.5	Strategy for treatment of nonerosive reflux disease in Asia.	Hiyama T; Yoshihara M, Tanaka S, Haruma K, Chayama K.	他 消化器・代謝内科
Intern Med.47(10):899-906,2008	Predictors and long-term prognostic implications of angiographic slow/no-flow during percutaneous coronary intervention for acute myocardial infarction.	Suenari K, Chayama K.	他 消化器・代謝内科
J Gastroenterol.43(4):298-304,2008	Advanced glycation end products enhance the proliferation and activation of hepatic stellate cells.	Iwamoto K, Chayama K.	他 消化器・代謝内科
World J Gastroenterol. 14(16):2602-8,2008.4	Systemic gemcitabine combined with intra-arterial low-dose cisplatin and 5-fluorouracil for advanced hepatocellular carcinoma: seven cases.	Uka K, Chayama K.	他 消化器・代謝内科
Int J Oncol.32(5):945-73,2008.5	Genetic polymorphisms and head and neck cancer risk (Review).	Hiyama T, Tanaka S, Chayama K.	他 消化器・代謝内科
Cancer Epidemiol Biomarkers Prev.17(4):846-54,2008.4	Risk factors for hepatocellular carcinoma in a Japanese population: a nested case-control study.	Ohishi W, Chayama K.	他 消化器・代謝内科
J Gastroenterol Hepatol. 23(4):541-5,2008.4	Prospective study of short-term peginterferon-alpha-2a monotherapy in patients who had a virological response at 2 weeks after initiation of interferon therapy.	Jeong S, Takahashi S, Chayama K.	他 消化器・代謝内科
Hypertension. 3:674-681,2008.4	Cigarette Smoking Abolishes Ischemic Preconditioning-Induced Augmentation of Endothelium-Dependent Vasodilation	Nakamura S, Kimura M, Goto C, Chayama K.	他 消化器・代謝内科
J Gastroenterol 43, 641-651, 2008.	Colorectal endoscopic submucosal dissection: present status and future perspective, including its differentiation from endoscopic mucosal resection.	Tanaka S, Oka S, Chayama K.	他 消化器・代謝内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Techniques in Gastrointestinal Endoscopy 10, 3, 113-118; 2008	Endoscopic ultrasonography with double balloon enteroscopy for small bowel diseases.	Oka S, Tanaka S, Fukumoto A, Chayama K.	他 消化器・代謝内科
New Challenges in Gastrointestinal Endoscopy, Springer, Japan, 353-366, 2008	Strategy of endoscopic treatment for colorectal tumor: recent progress and perspective.	Tanaka S, Oka S, Chayama K.	他 消化器・代謝内科
Scand J Gastroenterol 43, 490-496, 2008.	Prevalence of non-steroidal anti-inflammatory drug-induced enteropathy determined by double-balloon endoscopy: A Japanese multicenter study.	Matsumoto T, Kudo T, Esaki M, Yano T, Tanaka S..	他 消化器・代謝内科
J Clin Biochem Nutr 42, 144-149, 2008.	Long-term ultrasonographic follow-up study of gastric motility in patients with functional dyspepsia.	Kamino D, Manabe N, Hata J, Haruma K, Tanaka S, Chayama K.	他 消化器・代謝内科
World J Gastroenterol 14, 20, 3123-3128, 2008.	Strategy for treatment of nonerosive reflux disease in Asia.	Hiyama T, Yoshihara M, Tanaka S, Haruma K, Chayama K.	他 消化器・代謝内科
Scand J Gastroenterol 43, , 223-228, 2008.	Evaluation of colon cancer vascularity by flash echo imaging.	Nakao M, Hata J, Manabe N, Okanobu H, Tanaka S, Haruma K, Chayama K.	他 消化器・代謝内科
Dig Dis Sci 58, , 1818-1823, 2009.	Evaluation of gastric cancer risk using topography of histological gastritis: a large-scaled cross-sectional study.	Imagawa S, Yoshihara M, Ito M, Yoshida S, Wada Y, Tanaka S, Chayama K.	他 消化器・代謝内科
Endoscopy 41, , 304-309, 2009.	Metachronous multiple esophageal squamous cell carcinomas and Lugol-voiding lesions after endoscopic mucosal resection.	Urabe Y, Hiyama T, Tanaka S, Oka S, Yoshihara M, Arihiro K, Chayama K.	他 消化器・代謝内科
Intern Med. 2008;47(23):2073-6.	Cytotoxic edema in neuro-Behcet's disease	Shrestha I, Ohshita T, Naka H, Morino H, Matsumoto M.	他 脳神経内科
Neurosci Lett. 445 : 12-17, 2008.	Synphilin-1 transgenic mice exhibit mild motor impairments.	Jin HG, Yamashita H, Nakamura T, Fukuba H, Takahashi T, Hiji M, Kohriyama T, Matsumoto M.	他 脳神経内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Acta Neuropathol. 116 : 183-191, 2008.	White matter lesions in the brain with frontotemporal lobar degeneration with motor neuron disease: TDP-43-immunopositive inclusions co-localize with p62, but not ubiquitin.	Hiji M, Takahashi T, Fukuba H, Matsumoto M.	他 脳神経内科
AJNR Am J Neuroradiol.29: 1483-1486, 2008.	Association between cerebral microbleeds on T2*-weighted MR images and recurrent hemorrhagic stroke in patients treated with warfarin following ischemic stroke.	Ueno H, Naka H, Ohshita T, Kondo K, Matsumoto M.	他 脳神経内科
Neuroepidemiology 30: 152-160, 2008.	Incidence of dementia, Alzheimer disease, and vascular dementia in a Japanese population: Radiation Effects Research Foundation adult health study.	Yamada M, Mimori Y, Kasagi F, Miyachi T, Matsumoto M.	他 脳神経内科
Neurosci Lett. 2008 ;433(3):209-14.	Abundance of asparaginyl-hydroxylase FIH is regulated by Siah-1 under normoxic conditions.	Fukuba H, Takahashi T, Jin HG, Matsumoto M.	他 脳神経内科
Hypertens Res. 31: 783-792, 2008.	Ablation of the Bach1 gene leads to the suppression of atherosclerosis in Bach1 and ApoE double knockout mice.	Watari Y, Yamamoto Y, Brydun A, Ishida T, Igarashi K, Chyama K, Oshima T, Ozono R.	循環器内科
Hypertens Res. 231: 987-998, 2008.	Angiotensin II-induced Osteopontin Expression in Vascular Smooth Muscle Cells Involves G _{q/11} , Ras, ERK, Src and Ets-1.	Abe K, Nakashima H, Ishida M, Miho N, Sawano M, Soe NN, Kurabayashi M, Chayama K, Yoshizumi M, Ishida T.	循環器内科
Int Heart J. 49: 515-524, 2008.	Plasma levels of oxidized low density lipoprotein are associated with stable angina pectoris and modalities of acute coronary syndrome.	Imazu M, Ono K, Tadehara F, Kajiwara K, Yamamoto H, Sumii K, Tasaki N, Oiwa J, Shimohara Y, Gomyo Y, Itabe H.	循環器内科
Hyperten Res 31: 1391-1397, 2008.	White blood cell count, especially neutrophil count, as a predictor of hypertension in a Japanese population.	Tatsukawa Y, Hsu WL, Yamada M, Cologne JB, Suzuki G, Yamamoto H, Yamane K, Akahoshi M, Fujiwara S, Kohno N.	循環器内科
Acad Radiol. 15: 958-965, 2008.	Variability of repeated coronary artery calcium scoring and radiation Dose on 64- and 16-slice computed tomography by prospective electrocardiographically-triggered axial and retrospective electrocardiographically-gated spiral computed tomography: a phantom study.	Horiguchi J, Kiguchi M, Fujioka C, Arie R, Shen Y, Sunasaka K, Kitagawa T, Yamamoto H, Ito K.	循環器内科
Circ J. 72: 1430-1435, 2008.	One-year clinical outcomes of dialysis patients after implantation with sirolimus-eluting coronary stents.	Okada T, Hayashi Y, Toyofuku M, Imazu M, Otsuka M, Sakuma T, Ueda H, Yamamoto H, Kohno N.	循環器内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Radiology 248: 424-430, 2008.	Prospective versus retrospective ECG-gated 64-detector coronary CT angiography: assessment of image quality, stenosis, and radiation dose.	Hirai N, Horiguchi J, Fujioka C, Kiguchi M, Yamamoto H, Matsuura N, Kitagawa T, Teragawa H, Kohno N, Ito K.	循環器内科
Am J Roentgenol. 190: 1561-1568, 2008.	Optimal cardiac phase for coronary artery calcium scoring on single-source 64-MDCT scanner: least interscan variability and least motion artifacts.	Matsuura N, Horiguchi J, Yamamoto H, Hirai N, Tonda T, Kohno N, Ito K.	循環器内科
J Nucl Cardiol 15: 35-41, 2008.	Feasibility of the rapid protocol of one-day single isotope rest/stress technetium-99m sestamibi ECG-gated myocardial perfusion imaging.	Tadehara F, Yamamoto H, Tsujiyama S, Hinoi T, Matsuo S, Matsumoto N, Sato Y, Kohno N.	循環器内科
Metabolism 57: 170-176, 2008.	Effect of aerobic exercise training on oxidative stress in patients with type 2 diabetes mellitus	Nojima H, Watanabe H, Yamane K, Kitahara Y, Sekikawa K, Yamamoto H, Yokoyama A, Inamizu T, Asahara T, Kohno N	循環器内科
Hypertens Res. 31: 1293-1298, 2008.	Relationship between augmentation index and flow-mediated vasodilation in the brachial artery.	Soga J, Nakamura S, Nishioka K, Umemura T, Jitsuiki D, Hidaka T, Teragawa H, Yoshizumi M, Chayama K, Higashi Y.	他 循環器内科
Hypertension. 51: 446-453, 2008.	Periodontal infection is associated with endothelial dysfunction in humans.	Higashi Y, Jitsuiki D, Goto C, Umemura T, Nishioka K, Hidaka T, Takemoto T, Nakamura S, Nakagawa K, Oshima T, Chayama K.	他 循環器内科
Clinical Medicine: Cardiology. 2: 181-189, 2008.	Treatment of coronary spastic angina, particularly medically refractory coronary spasm (review).	Teragawa H, Nishioka K, Higashi Y, Chayama K, Kihara Y.	循環器内科
Clin Cardiol. 31: 310-316, 2008.	Coronary vasospasm produces reversible perfusion defects observed during adenosine triphosphate stress myocardial single-photon emission computed tomography.	Teragawa H, Ueda K, Okuhara K, Kuwashima R, Fukuda Y, Kiguchi M, Taniguchi K, Higashi Y, Chayama K.	他 循環器内科
Am J Hypertens. 21: 1203-1209, 2008.	Aging and hypertension are independent risk factors for reduced number of circulating endothelial progenitor cells.	Umemura T, Soga J, Hidaka T, Takemoto H, Nakamura S, Jitsuiki D, Nishioka K, Goto C, Chayama K, Higashi Y.	他 循環器内科
J Appl Physiol. 105: 770, 2008.	Commentary on Viewpoint: Exercise and cardiovascular risk reduction: time to update the rationale for exercise?	Higashi Y.	循環器内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Bur Heart J. 29: 2710-2712, 2008.	Effect of isoflavone supplement on endothelial function: does efficacy vary with atherosclerotic burden?	Teragawa H, Higashi Y, Kihara Y.	循環器内科
Circ J. 72: 2035-2039, 2008.	Incremental prognostic value of cardiac function assessed by ECG-gated myocardial perfusion SPECT for the prediction of future acute coronary syndrome.	Matsumoto N, Sato Y, Suzuki Y, Kasama S, Nakano Y, Kato M, Yoda S, Miki T, Iida J, T, Tadehara F, Nagao K, Hirayama A.	他 循環器内科
Jpn J Interv Cardiol 23: 376-380, 2008.	Acute myocardial infarction, in which the culprit lesion was within the stented portion, occurring nine years after implantation of a bare metal stent.	Teragawa H, Nishioka K, Fujii Y, Mitsuba N, Makita Y, Fujimura N, Hata T, Okuhara K, Higashi Y, Shingu T, Chayama K,	他 循環器内科
J Arrhythmia. 2008.	Long-Term Follow-Up of Hybrid Pharmacological and Ablative Therapy in Patients with Paroxysmal Atrial Fibrillation Who Develop Typical Atrial Flutter: Difference between Counterclockwise and Clockwise Type	Takenaka S, Fujii S, Takahashi K, Tasaka K, Nakano Y, Hasegawa D, Habara S, Maekawa J, Tanaka H, Yamamoto Y, Katoh H, Inoue K.	他 循環器内科
Intern Med. 47(10): 899-906, 2008.	Predictors and long-term prognostic implications of angiographic slow/no-flow during percutaneous coronary intervention for acute myocardial infarction.	Suenari K, Shiode N, Shirota K, Ishii H, Goto K, Sairaku A, Mikami S, Nakano Y, Chayama K.	循環器内科
Intern Med. 47(4): 201-204, 2008.	Comparison of long-term angiographic follow-up after sirolimus-eluting stent and bare-metal stent implantation.	Shiode N, Shirota K, Goto K, Sairaku A, Mikami S, Kato Y, Suenari K, Ishi H.	循環器内科
J Clin Invest. 118: 1632-1644, 2008.	ROCK1 Mediates Leukocyte Recruitment and Neointima Formation Following Vascular Injury.	Noma K, Rikitake Y, Oyama N, Yan G, Alcaide P, Liu PY, Wang H, Ahl D, Sawada N, Okamoto R, Hiroi Y, Shimizu K	他 循環器内科
J Heart Lung Transplant. 27(8): 869-874, 2008.	Which factors predict the recovery of natural heart function after insertion of a left ventricular assist system?	Mano A, Nakatani T, Oda N, Kato T, Niwaya K, Tagusari O, Nakajima H, Funatsu T, Hashimoto S, Komamura K, Hanatani A, Ueda IH.	他 循環器内科
Heart. 94(10): 1302-1306, 2008.	Heterogeneity of regional systolic function detected by tissue Doppler imaging is linked to impaired global left ventricular relaxation in hypertrophic cardiomyopathy.	Kato TS, Izawa H, Komamura K, Noda A, Asano H, Nagata K, Hashimoto S, Oda N, Kamiya C, Kanzaki H, Hashimura K, Ueda HI, Murohara T	他 循環器内科
J Am Geriatr Soc. 56(6): 1159-1160, 2008.	Role of telemetry monitoring to detect the onset of tako-tsubo cardiomyopathy in consciousness disturbance.	Kurisu S, Inoue I, Kawagoe T, Ishihara M, Shimatani Y, Nakama Y, Marubashi T, Kagawa E, Dai K, Aokage T,	他 循環器内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Resuscitation. 79(2): 332-335, 2008.	Therapeutic hypothermia after out-of-hospital cardiac arrest due to Brugada syndrome.	Kurisu S, Inoue I, Kawagoe T, Ishihara M, Shimatani Y, Nakama Y, Maruhashi T, Kagawa E, Dai K, Aokage T, Matsushita J, Ikenaga H.	循環器内科
Can J Cardiol. 24(8): 640-642, 2008.	Torsade de pointes associated with bradycardia and takotsubo cardiomyopathy.	Kurisu S, Inoue I, Kawagoe T, Ishihara M, Shimatani Y, Nakama Y, Ohkawa K, Maruhashi T, Kagawa E, Dai K, Aokage T.	循環器内科
J Am Geriatr Soc. 56(8): 1579-1581, 2008.	Clinical profile of patients with symptomatic glycyrrhizin-induced hypokalemia.	Kurisu S, Inoue I, Kawagoe T, Ishihara M, Shimatani Y, Nakama Y, Maruhashi T, Kagawa E, Dai K, Aokage T, Matsushita J, Ikenaga H.	循環器内科
J Cardiol. 252(3): 232-238, 2008.	Trends in gender difference in mortality after acute myocardial infarction.	Ishihara M, Inoue I, Kawagoe T, Shimatani Y, Kurisu S, Nakama Y, Maruhashi T, Kagawa E, Dai K, Matsushita J, Ikenaga H.	循環器内科
JACC Cardiovasc Imaging 2: 153-160, 2009.	Characterization of noncalcified coronary plaques and identification of culprit lesions in patients with acute coronary syndrome by 64-slice computed tomography.	Kitagawa T, Yamamoto H, Horiguchi J, Ohashi N, Tadehara F, Shokawa T, Dohi Y, Kunita E, Utsunomiya H, Kohno N, Kihara	循環器内科
Acad Radiol 16: 187-193, 2009.	Coronary artery calcium scoring on low-dose prospective electrocardiographically-triggered 64-slice CT.	Horiguchi J, Matsuura N, Yamamoto H, Kiguchi M, Fujioka C, Kitagawa T, Kohno N, Ito K.	循環器内科
Atherosclerosis 202: 192-199, 2009.	Visceral fat accumulation as a predictor of coronary artery calcium as assessed by multislice computed tomography in Japanese patients.	Ohashi N, Yamamoto H, Horiguchi J, Kitagawa T, Hirai N, Ito K, Kohno N.	循環器内科
Circ J 73: 772-775, 2009.	Coronary plaque stabilization followed by Color Code Plaque analysis with 64-slice multidetector row computed tomography.	Kunita E, Fujii T, Urabe Y, et al.	循環器内科
Hypertension. 53: 674-681, 2009.	Cigarette smoking abolished ischemic preconditioning-induced augmentation of endothelium-dependent vasodilation.	Nakamura S, Kimura M, Goto C, Noma K, Yoshizumi M, Chayama K, Kihara Y, Higashi Y.	循環器内科
J Am Soc Nephrol. 20: 1504-1512, 2009.	Dietary Phosphorus Acutely Impairs Endothelial Function.	Shuto E, Taketani Y, Tanaka R, Harada N, Isshiki M, Sato M, Nashiki K, Amo K, Yamamoto H, Higashi Y,	他 循環器内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Heart Lung Transplant. 28(4): 409-411, 2009.	Drug interaction between tacrolimus and carbamazepine in a Japanese heart transplant recipient: a case report.	Wada K, Takada M, Sakai M, Ochi H, Kotake T, Okada H, Morishita H, Oda N, Mano A, Kato TS, Komamura K, Nakatani T.	循環器内科
J Cardiol. 53(2): 301-305, 2009.	Experience of appendicular thermal therapy applied to a patient with a left ventricular assist device awaiting heart transplantation.	Higashi H, Komamura K, Oda N, Kato TS, Yanase M, Mano A, Hashimoto S, Wada K, Shishido T, Hashimura K, Kitakaze M.	循環器内科
Journal of Cardiology 54, 289-296, 2009.	Intravenous administration of adenosine triphosphate disodium during primary percutaneous coronary intervention attenuates the transient rapid improvement of myocardial wall motion, not myocardial stunning, shortly after	Tokuyama T, Sakuma T, Motoda C, Kawase T, Takeda R, Mito S, Tamekiyo H, Otsuka M, Okimoto T, Toyofuku M, Hirao H, Muraoka Y.	他 循環器内科
Int J Cardiol. 2009.	ncidence and treatment of left ventricular apical thrombosis in Tako-tsubo cardiomyopathy.	Kurusu S, Inoue I, Kawagoe T, Ishihara M, Shimatani Y, Nakama Y, Maruhashi T, Kagawa E, Dai K.	循環器内科
J Electrocardiol. 42(2): 106-110, 2009.	Electrocardiographic prediction of short-term prognosis in patients with acute myocardial infarction associated with the left main coronary artery.	Kurusu S, Inoue I, Kawagoe T, Ishihara M, Shimatani Y, Nakama Y, Maruhashi T, Kagawa E, Dai K, Matsushita J, Ikenaga H.	循環器内科
J Pharma Sci. 108: 1-6, 2008.	Endothelial progenitor cells: therapeutic target for cardiovascular diseases (review).	Umemura T, Higashi Y.	循環器内科
Hypertens Res. 31: 2105-2113, 2008.	Flow-mediated vasodilation as a diagnostic modality for vascular failure (review).	Inoue T, Matsuoka H, Higashi Y, Ueda S, Sata M, Shimada K, Ishibashi Y, Node K.	循環器内科
Circ J. 73: 411-418, 2009.	Oxidative stress and endothelial function in cardiovascular diseases (review).	Higashi Y, Noma K, Yoshizumi M, Kihara Y.	循環器内科
Expert Opin Pharmaco. 10: 323-331, 2009.	Edaravone for Extending the therapeutic time window and rescue of ischemic penumbra in acute cerebral infarction: role of endothelium-derived nitric oxide and oxidative stress (review).	Higashi Y.	循環器内科
Springer-Verlag GmbH Berlin Heidelberg 2009.	Coronary spasm. In: Lang, F. ed., Encyclopedia of Molecular Mechanisms of Disease.	Teragawa H, Chayama K.	循環器内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Cardiol. 52: 59-61, 2008.	Disopyramide for transient high-degree atrioventricular block in a young patient with a history of syncope.	Hirai Y, Yamamoto H, Nakano Y, Ogi H, Kajiwara S, Kohno N.	循環器内科
J Arrhythmia reviced submission 2008.	Ablation of idiopathic ventricular tachycardia with a left bundle-branch block morphology originating from the pulmonary artery.	Ogi H, Nakano Y, Oda N, Miyoshi M, Chayama K, Ishibashi K, Hirai Y, Okimoto T.	循環器内科
Nippon Ronen Igakkai Zasshi. 46: 259-263. 2009.	[A 78-year-old man with unruptured aneurysm of Valsalva found accidentally by syncope during straining]	Horiguchi M, Ikeda S, Yamane K, Izumi N, Ohshima K, Ishibashi K, Ohshima K, Hamada M.	循環器内科
広島医学61 (5): 412-416, 2008.	非心電図同期造影CT検査が診断に有用であった急性心筋梗塞の1例.	下村 怜、寺川宏樹、西岡健司、東幸仁、新宮哲司、大島哲也、木原康樹、茶山一彰	他 循環器内科
広島医学 61 (6): 525-529, 2008.	心不全および心室性頻拍に加え左室内血栓症を合併し、治療に難渋した産褥性心筋症の1例.	藤村憲崇、寺川宏樹、山本秀也、東幸仁、木原康樹	他 循環器内科
Therapeutic Research 29 (5): 684-686, 2008.	右上肢に生じた深部静脈血栓症 (Paget-Schroetter症候群)の1例.	光波直也、寺川宏樹、西岡健司、東幸仁、木原康樹、茶山一彰	他 循環器内科
心臓リハビリテーション 13-2: 309-312, 2008.	心臓移植術前における心臓リハビリテーションの有用性.	小田登、加藤倫子、築瀬正伸、川上利香、肥後大基、相原直彦、中谷武嗣、後藤葉一	循環器内科
Jpn J cardiovasc Cathet Ther 8(1): 37-42, 2008.	急性冠症候群に対する冠動脈インターベンションにおけるバルーン拡張前および後のThrombuster II TM血栓吸引療法.	木阪智彦、榎野新、本藤達也、松田圭司、西樂顕典、富永晃一	循環器内科
広島医学62:473-479, 2009.	当院における近年5年間の高周波カテーテル心筋焼灼術の検討.	小田登、中野由紀子、松崎尚恒、山本秀也、石田隆史、木原康樹	他 循環器内科
広島医学62: in press, 2009.	カルベジロール増量により心機能改善を認めたアドリアマイシン心筋症の1例.	板倉希帆、小田登、石田隆史、山本秀也、木原康樹	他 循環器内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
広島医学62(7): 339-343,2009.	当病院における心房細動に対するカテーテルアブレーションの治療成績.	梶原賢太、中野由紀子、木原康樹	他 循環器内科
CIRCULATION Up-to-date 3: 396-406, 2008.	不安定プラークの診断と治療: マルチスライスCTからの検討.	山本秀也、木原康樹	循環器内科
HEART nursing 21:1263-1269, 2008.	正常と異常で理解する心臓CT画像.	國田英司、木原康樹	循環器内科
Life Style Medicine. 2: 72-78, 2008.	「生活習慣病のための検査-検査値をどうみるか-」血管内皮機能.	東 幸仁	循環器内科
分子血管病. 9: 141-146, 2008.	「抗加齢医学から心血管障害を考える」3.血管内皮機能と生活習慣病.	東 幸仁	循環器内科
血圧. 15: 312-317, 2008.	高血圧と微量アルブミン尿1.血管内皮機能異常と微量アルブミン尿	東 幸仁	循環器内科
血管内皮機能. Pharma Medica. 2008.	心血管代謝レビュー: State-of-the art lectures	東 幸仁	循環器内科
Angiology Frontier. 7: 92-94,2008.	血管内皮機能検査(I)	東 幸仁	循環器内科
Angiology Frontier. 7: 121-125,2008.	Angiology Frontier. 7: 92-94,2008.	東 幸仁	循環器内科
Prevention of Arteriosclerosis. 7: 53-58, 2008.	運動と動脈硬化予防 7.運動と血管内皮機能.	東 幸仁	循環器内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
進歩する心臓研究.51: 21-28, 2008.	動脈硬化 Update. 演題3. 血管内皮機能測定:プレチスモグラフから血中マーカーまで	東 幸仁	循環器内科
Nephrology Frontier. 7: 350-355, 2008.	血管内皮機能と腎臓 内皮機能の評価法、マーカー分子.	東 幸仁	循環器内科
血圧. 15: 754-756, 2008.	末梢血管病における酸化ストレスと血管内皮機能	西岡健司、東 幸仁、 木原康樹	循環器内科
Pharma Medica. 27: 124-125, 2009.	心血管代謝レビュー:State-of-the art lectures 血管内皮機能.	東 幸仁	循環器内科
Prevention of Arteriosclerosis. 7: 48- 52, 2009.	潜在性動脈硬化症 7.血管内皮機能異常.	東 幸仁	循環器内科
血圧. 16: 416-420, 2009.	新たな血管機能検査法 6.血管内皮機能(Flow-Mediated Dilatation).	曾我潤子、東 幸仁	循環器内科
臨床薬理. Jpn J Clin Pharmacol Ther. 40: 201S-202S, 2009.	ヒト血管(内皮)機能の測定 薬効評価のサロゲートマーカーとしての妥当性	東 幸仁	循環器内科
Prevention of Arteriosclerosis. 8: 74- 76, 2009.	危険因子 高血圧:血管内皮機能.	東 幸仁	循環器内科
Mebio. 26: 40-47, 2009.	動脈硬化の進展度・脆弱性をどう把握するか 5.血管内皮機能による評価.	東 幸仁	循環器内科
Heart View. 13: 610- 615, 2009.	循環器疾患をバイオマーカーから診る「識る」6.内皮機能障害の新しいバイオマーカー.	東 幸仁	循環器内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Vascular Lab. 6: 388-392, 2009.	「エイジングと血管」テクニック (Technique)/治療 (Treatment) 5.FMD.	東 幸仁	循環器内科
分子心血管病.10: 393-400, 2009.	血管内皮研究の新展開 7.病態と血管内皮機能.	野間玄督、東 幸仁	循環器内科
Angiotensin Research. 6: 175-179, 2009.	心血管系のアンチエイジングとRAS 5. 血管とアンチエイジング.	東 幸仁	循環器内科
高血圧と坑アルドステロン薬 99-104, 2008.	アルドステロン研究の新展開	東 幸仁	循環器内科
男性更年期障害の臨床 B.血管機能の変化 2.血管年齢からみた性差 26-29, 2008.	男性更年期障害	東 幸仁、真田光博、吉栖正生	循環器内科
中外医学社(株)II.測定 5.API. 164-165, 2008.	キーワードで学ぶ メタボリックシンドローム	東 幸仁	循環器内科
メディカルレビュー社(株)基礎編 I.理論 10.動脈内皮機能とステイファネスとの関係. 49-52, 2008.	新しい血圧測定と脈派解析マニュアル	東 幸仁	循環器内科
ワールドプランニング社第6章:口腔ケア、口腔疾患と老年病. 3.歯周病と老年疾患. 376-380, 2008.	老年医学の基礎と臨床	田口 明、東 幸仁、吉栖正生	循環器内科
日本臨床社(株)IV.生活習慣病-慢性疾患と身体活動-. 8.脂質異常症. 284-289, 2009.	身体活動・運動と生活習慣病-運動生理学と最新の予防・治療-	東 幸仁	循環器内科
シナジー(株)4.高血圧、血管機能.血管内皮機能検査の有効性とピットフォール. 253-257, 2009.	循環器検査のグノーティ・セアウトン	東 幸仁	循環器内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本臨床社(株)IV.血圧調節系と高血圧成因論 3.心・血管機能調節系 3)血管内皮機能. 144-148, 2009.	高血圧症(上)-基礎編-	東 幸仁	循環器内科
心臓 40:388-393,	血液透析中の血圧低下に対して, シベンプリンが有効であった左室中間部閉塞性肥大型心筋症の1症例.	北川知郎、山本秀也、富田隆志、蓼原太、沖本智和、莊川知己、平位有恒、久留島秀治、大橋紀彦、河野修興.	循環器内科
臨床高血圧. 14: 40-47, 2008.	DATA Analysis.	西岡健司、渡雄一郎、曾我潤子、東 幸仁	循環器内科
Angiology Frontier. 17: 83-89, 2008.	セロトニンと血管内皮機能	東 幸仁	循環器内科
Thrombosis and Circulation. 16: 344-348, 2008.	血栓と循環の検査法:血管内皮機能シリーズNo.1.「FMDによる血管内皮機能測定」.	東 幸仁 松岡秀洋	循環器内科
TransBEAT. 2: 12-13, 2008.	INSIGHT. 注目されるレニン・アンジオテンシン系の役割. 1 酸化ストレス.	東 幸仁	循環器内科
Thrombosis and Circulation. 17: 58-62, 2009.	血栓と循環の検査法:血管内皮機能シリーズNo.2.「プレチスモグラフによる血管内皮機能測定」.	東 幸仁、井上 卓、植田真一郎	循環器内科
Thrombosis and Circulation. 17: 58-62, 2009.	血栓と循環の検査法:血管内皮機能シリーズNo.3.「冠動脈における血管内皮機能検査」	東 幸仁、島田建永	循環器内科
Thrombosis and Circulation. 7: 313-316, 2009.	血栓と循環の検査法:血管内皮機能シリーズNo.4.「NOセンサーを用いた血管内皮機能測定」.	東 幸仁、後藤真己	循環器内科
The Preventers. 2: 8-9, 2009.	Evidence Based Clinical Practice食塩1g減らしたら何が期待できる?(循環器).	東 幸仁	循環器内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
The Preventers. 3: 11, 2009.	Keyword Update 血管保護作用	東 幸仁	循環器内科
Brain and Cognition 69(1): 218-225, 2009.1	Self-referential processing of negative stimuli within the ventral anterior cingulate gyrus and right amygdala.	山脇成人	他 精神科
Psychiatry and Clinical Neurosciences 63(3): 423-425, 2009.3	Attenuated prefrontal activation during a verbal fluency task in remitted major depression.	岡本泰昌	他 精神科
臨床精神医学 37(6): 773-777, 2008.6	fMRIでみるうつ病の脳機能	山脇成人	他 精神科
生理心理学と精神生理学 26(12): 229-235, 2008.12	情動予期の神経基盤に関するfMRI研究	山脇成人	他 精神科
強迫性障害の研究 9: 19-26, 2008.5	ある遷延化した強迫性障害症例の多様な治療アプローチによる臨床経過 薬物療法・電気けいれん療法・認知行動療法への反応性	山脇成人	他 精神科
日本医事新報 4403: 57-62, 2008.9	脳血管性うつ病の診断と治療	山下英尚	他 精神科
生理心理学と精神生理学 26(3): 229-235, 2008.12	情動予期の神経基盤に関するfMRI研究	岡本泰昌	他 精神科
心身医学 49(1): 39-45, 2009.1	摂食障害研究の最前線 摂食障害における脳機能画像研究	山脇成人	他 精神科
International Journal of Cancer 123(5): pp. 1117-1125, 2008.9	The methylation status of RASSF1A promoter predicts responsiveness to chemotherapy and eventual cure in hepatoblastoma patients	檜山英三	他 小児外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Lancet 371(9619):pp.1173- 1180,2008.4	Effectiveness of screening for neuroblastoma at 6 months of age: a retrospective population-based cohort study.	檜山英三	他 小児外科
Annals of the Academy of Medicine 37:pp.88- 91,2008.9	Neuroblastoma screening in Japan, population-based cohort study and future aspects of screening.	檜山英三	小児外科
小児外科 40(9):pp. 969- 974,2008.9	マススクリーニングの再評価と今後の方向性	檜山英三	他 小児外科
Br J Cancer 99(11):1891- 1899,2008.12	Loss of imprinting of IGF2 correlates with hypermethylation of the H19 differentially methylated region in hepatoblastoma.	檜山英三	他 小児外科
Circ J 72(7): pp.1175-1177,2008.6	Deep hypothermic circulatory arrest for resecting renal tumor in the inferior vena cava: beneficial or deleterious?	渡橋和政 末田泰二郎	他 心臓血管外科
J Arrhythmia 24(3):pp.133- 140,2008.4	Current status of implantable defibrillator device in patients with left ventricular dysfunction - The first report from the online registry database.	今井克彦	他 心臓血管外科
体外循環技術 35(2):pp.168- 170,2008.6	シミュレータを用いた人工心肺システム評価について	黒崎達也 末田泰二郎	心臓血管外科
Am J Surg 2008 195(6):pp.757- 762,2008.6	Adjuvant gemcitabine plus S-1 chemotherapy after surgical resection for pancreatic adenocarcinoma.	村上義昭 上村健一郎	他 消化器外科
J Surg Oncol 98(5): pp.309-313,2008.6	Randomized clinical trial to assess the efficacy of ulinastatin for postoperative pancreatitis following pancreaticoduodenectomy.	上村健一郎 村上義昭	他 消化器外科
Eur J Cardiothorac Surg. 33(4):pp.695-699,200 8.4	Transcranial motor-evoked potentials following intra-aortic cold blood infusion facilitates detection of critical supplying artery of spinal cord.	濱石誠 渡橋和政	他 心臓血管外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Surgical Oncology 97(5):469-475,2008.4	Mixed ductal-endocrine carcinoma derived from intraductal papillary mucinous neoplasm (IPMN) of the pancreas identified by human telomerase reverse transcriptase (hTERT) expression	橋本泰司 村上義昭	他 消化器外科
J Surg Oncol 97:pp.519-522,2008.5	Long-term pancreatic endocrine function following pancreatoduodenectomy with pancreaticogastrostomy	村上義昭 上村健一郎	他 消化器外科
J Gastrointest Surg 12:pp.1081-1086,2008.6	An Antecolic Roux-en Y type Reconstruction Decreased Delayed Gastric Emptying after Pylorus-Preserving Pancreatoduodenectomy	村上義昭 上村健一郎	他 消化器外科
J Hepatobiliary Pancreat Surg 15(2):200-203,2008.4	Perioperative management of benign hepatic tumors in patients with glycogen storage disease type Ia	大下彰彦	他 消化器外科・移植外科
J Hepatobiliary Pancreat Surg 15(2):228-231,2008.4	Hepatic venous outflow obstruction after right lateral sector living-donor liver transplantation, treated by insertion of an expandable metallic stent	谷本新学	他 消化器外科・移植外科
Surgery 144(1):105,2008.7	Portal vein reconstruction using explanted recipient's native right hepatic vein	田代裕尊	他 移植外科
Hepato-Gastroenterology55:1773-1775,2008.9	Reconstruction of the middle hepatic vein tributary with Resection of the middle hepatic vein trunk:Report of a case	板本敏行	他 移植外科
Liver Transplantation15(2):208-215,2009.2	Significant correlation between spleen volume and thrombocytopenia in liver transplant patients:A concept for predicting for predicting perssistent thrombocytopeia	大平真裕	他 消化器外科・移植外科
J Surg Res 151(1):85-88,2008.4	Synthetic bioabsorbable stent material for duct-to-duct biliary reconstruction	田代裕尊	他 移植外科
Transplantation 85(7):1060-1064,2008.4	Role of invariant natural killer T cells in liver sinusoidal endothelial cell-induced mmunosuppression among T	志々田将幸	他 消化器外科・移植外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Hiroshima J Med Sci 57(2):73-78,2008.6	Role of vascular endothelial growth factor-C and -D mRNA in breast cancer	寺本成一	他 消化器外科・移植外科
J Gastroenterol 43(5):369-377,2008.7	Comparative study of the Japan Integrated Stage8(JIS) and modified JIS score as a predictor of survival after hepatectomy for hepatocellular carcinoma	羅 開忠	他 消化器外科・移植外科
Xenotransplantation15(4):235-45,2008.7	Engraftment of human hepatocytes in the livers of rats bearing bone marrow reconstructed with immunodeficient mouse bone marrow cells	五十嵐 友香	他 消化器外科・移植外科
Hepatogastroenterology 55(86-87):1746-1749,2008.9	Prophylaxis against recurrence of HBV hepatitis after living-donor liver transplantation	田代裕尊	他 移植外科
広島医学61(11):715-716,2008.11	先天性肝外門脈下大静脈短絡路に合併した肝腺腫	谷本新学	他 消化器外科・移植外科
Transplantation86(11):1565-1571,2008.12	Using recipient's middle hepatic vein for drainage of the right paramedian sector in right liver graft	田代裕尊	他 移植外科
広島医学62(1):5-9,2009.12	大腸癌肝転移切除例の検討	黒田慎太郎	他 消化器外科・移植外科
World J Gastroenterol 15(8):1007-1009,2009.2	Prophylaxis against recurrence of HBV hepatitis after living-donor liver transplantation	池田聡	他 消化器外科・移植外科
CI研究 30: 29-34, 2008.	Volume subtraction法を応用した Fusion CTA-コイル塞栓術後における術前CTAと術後コイルのFusion image-	岐浦禎展	他 脳神経外科
広島医学. 61: 635-636, 2008.	頸部頸動脈狭窄症に対する経皮的頸動脈ステント留置術	坂本 繁幸	他 脳神経外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
13: 199-205, 2008.	海綿静脈洞への流出路を伴った前大脳動脈仮性動脈瘤の一. Neurosurgical Emergency	津村 龍	他 脳神経外科
British Journal of Cancer. 98: 345-355, 2008.	Centrosome amplification induced by survivin suppression enhances both chromosome instability and radiosensitivity in glioma cells	Saito Taichi,	他 脳神経外科
Neuroscience Letters. 430:109-114, 2008.	Intravenous administration of bone marrow stromal cells increases survivin and bcl-2 protein expression and improves sensorimotor function following ischemia in rats	Takahito Okazaki	他 脳神経外科
Neurosurgical Review. 31: 77-81, 2008.	Expression of vascular endothelial growth factor in dura mater of patients with moyamoya disease	Sakamoto Shigeyuki	他 脳神経外科
Clinical Neurology and Neurosurgery. 110: 400-403, 2008.	Course of apparent diffusion coefficient in cerebral edema of dural arteriovenous fistula before and after treatment	Sakamoto Shigeyuki	他 脳神経外科
J Chemother. 2008 Oct; 20(5):615-21.	The pharmacokinetics and pharmacodynamics of meropenem in the • cerebrospinal fluid of neurosurgical patients.	Tsumura R	他 脳神経外科
Journal of Neurosurgery: Spine. 9: 167-174, 2008.	Posterolateral protrusion of the vertebral artery over the posterior arch of the atlas: quantitative anatomical study using three-dimensional computed tomography angiography	Yamaguchi S	他 脳神経外科
case report. Neurosurgery 63, 370-372, 2008	Familial occurrence of dysembryoplastic neuroepithelial tumor-like neoplasm of the septum pellucidum	Saito T, Sugiyama K, Yamasaki F, Tominaga A, Kurisu K, Takeshima Y, Hirose T	他 脳神経外科
Surgical Neurology 70, 463-465, 2008	Transient headache related to enlargement of the contralateral vertebral artery after vertebral artery occlusion.	Sakamoto S, Ohba S, Shibukawa M, Kiura Y, Okazaki T, Kurisu K, Kajihara Y, Mukada K	他 脳神経外科
広島医学 61,635-636, 2008	頸部頸動脈狭窄症に対する経皮的頸動脈ステント留置術.	坂本繁幸、大庭信二、渋川正顕、岐浦禎展、松重俊憲、栗栖 薫	他 脳神経外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Hiroshima Journal of Medical Sciences 57, 47-51, 2008	Multiple Concurrent Anastomotic Procedures in the Management of Moyamoya Disease: A case report with review of literature.	Shrestha P, Sakamoto S, Ohba S, Shibukawa M, Kiura Y, Okazaki T, Takeda M, Sugiyama K, Kurisu K	他 脳神経外科
a case report. Journal of Neuro-oncology 88, 299-303, 2008	Secondary anaplastic oligodendroglioma after cranial irradiation	Doskaliyev A, Yamasaki F, Kenjo M, Shrestha P, Saito T, Hanaya R, Sugiyama K, Kurisu K	他 脳神経外科
J.Neurooncol 86, 207-210, 2008	Primary diffuse leptomeningeal gliomatosis.	Watanabe Y, Hotta T, Yoshioka H, Itoh Y, Taniyama K, Sugiyama K	他 脳神経外科
Neuroscience Letters 440, 160-165, 2008	Regulation of heme oxygenase-1 by transcription factor Bach1 in the mouse brain.	Sakoda E, Igarashi K, Sun J, Kurisu K, Tashiro S	他 脳神経外科
Arthroscopy 25(2);117-122, 2009.2	A Minimum 2-Year Follow-up After Selective Anteromedial or Posterolateral Bundle Anterior Cruciate Ligament Reconstruction.	越智光夫	他 整形外科
Journal of biomedical materials research A.85 (4):1090-1095, 2008.	Feasibility of prefabricated vascularized bone graft using the combination of FGF-2 and vascular bundle implantation within hydroxyapatite for osteointegration.	Nakasa T, Ishida O, Ochi M.	他 整形外科
Archives of orthopaedic and trauma surgery. 128(9):909-913, 2008.	Multiple drillings of the acetabular fossa induce early joint remodeling after rotational acetabular osteotomy for hip dysplasia.	Yamasaki T, Yasunaga Ochi M.	他 整形外科
Journal of Biomedical Materials Research A 85(3):597-604, 2008.	Accumulation of magnetically labeled rat mesenchymal stem cells using an external magnetic force, and their potential for bone regeneration.	Sugioka T, Ochi M,	他 整形外科
Cancer Chemother Pharmacol. 62(1):111-116, 2008	Efficacy of a nitrogen-containing bisphosphonate, minodronate, in conjunction with a p38 mitogen activated protein kinase inhibitor or doxorubicin against malignant bone tumor cells.	Kubo T, Shimose S, Matsuo T, Sakai A, Ochi M.	他 整形外科
Archives of orthopaedic and trauma surgery 128(5):445-449, 2008.	The deficit of joint position sense in the chronic unstable ankle as measured by inversion angle replication error.	Nakasa T, Fukuhara K, Adachi N, Ochi M.	他 整形外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Knee.15(1):50-53, 2008.	Bone union of painful bipartite patella after treatment with low-intensity pulsed ultrasound: Report of two cases.	Kumahashi N, Uchio Y, Iwasa J, Kawasaki K, Adachi N, Ochi M.	他 整形外科
Knee surgery sports traumatology arthroscopy.16(3):270-274, 2008.	Articular cartilage injury of the posterior lateral tibial plateau associated with acute anterior cruciate ligament injury.	Nishimori M, Deie M, Adachi N, Kanaya A, Nakamae A, Motoyama M, Ochi M.	他 整形外科
Artificial organs 32(1):36-44, 2008.	Transplantation of tissue-engineered osteochondral plug using cultured chondrocytes and interconnected porous calcium hydroxyapatite ceramic cylindrical plugs to treat osteochondral defects in a rabbit model.	Ito Y, Adachi N, Nakamae A, Yanada S, Ochi M.	他 整形外科
Arthroscopy 24(1):69-76, 2008.	A novel cell delivery system using magnetically labeled mesenchymal stem cells and an external magnetic device for clinical cartilage repair.	Kobayashi T, Ochi M, Yanada S, Ishikawa M, Adachi N, Deie M, Arihiro K	他 整形外科
The Knee15(2) 134-138, 2008.	Characteristics of trunk lean motion during walking in patients with symptomatic knee osteoarthritis.	Kosuke Tanaka , Koji Miyashita, Yoshimasa Ishii and Mitsuo Ochi.	他 整形外科
Journal of orthopaedic research 26(6):894-898, 2008.	Oxidative stress reaction in the meniscus of bach 1 deficient mice: Potential prevention of meniscal degeneration.	Satoshi Ochiai, Toshiyuki Mizuno, Masataka Deie , Mitsuo Ochi	他 整形外科
Acta Orthopaedica. 79(1):106-110, 2008.	Platelet-rich plasma accelerated surgical angio-genesis in vascular-implanted necrotic bone: An experimental study in rabbits.	Kazunori Yokota, Osamu Ishida, Toru Sunagawa, Mitsuo Ochi,MD.	他 整形外科
The Journal of bone and joint surgery.British volume 90(3):364-370, 2008.	Expression of hypoxia-inducible factor-1(alpha) and its relationship to tumour angiogenesis and cell proliferation in cartilage tumours.	T. Kubo,T. Sugita,S. Shimose,T. Matsuo,K. Arihiro,M. Ochi.	他 整形外科
Spine 15;33(6):687-693, 2008.	Relationship between the histological findings of spondylolytic tissue, instability of the loose lamina, and low back pain.	Akira Miyauchi, MD, Itsushi Baba, MD, Tadayoshi Sumida, MD, PhD, and Mitsuo Ochi, PhD.	他 整形外科
The American Journal of Sports Medicine A. 36(7):1298-1309, 2008.	Tendon-Bone Insertion Repair and Regeneration Using Polyglycolic Acid Sheet in the Rabbit Rotator Cuff Injury Model	Yokoya S, Mochizuki Y, Nagata Y, Deie M, Ochi M.	他 整形外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Archives of orthopaedic and trauma surgery. 128(9):941-944, 2008.	Rigid bridging of massive femur defect using double vascularized fibula graft with hydroxyapatite.	Matsuo T, Sugita T, Shimose S, Kubo T, Sunagawa T, Yasunaga Y, Ochi M.	他 整形外科
Medical science monitor 14(4):CS23-30, 2008.	Transplantation of bone marrow mononuclear cells enables simultaneous treatment with osteotomy for osteonecrosis of the bilateral femoral head.	Yamasaki T, Yasunaga Y, Terayama H, Ito Y, Ishikawa M, Adachi N, Ochi M.	他 整形外科
Arthritis and rheumatism 58(5):1284-1292, 2008.	Expression of microRNA-146 in rheumatoid arthritis synovial tissue.	Nakasa T, Miyaki S, Okubo A, Hashimoto M, Nishida K, Ochi M, Asahara H.	他 整形外科
The American journal of sports medicine 36(8):1542-1547, 2008.	Arthroscopic and Magnetic Resonance Image Appearance and Reconstruction of the Anterior Talofibular Ligament in Cases of Apparent Functional Ankle Instability.	Takao M, Inanami K, Matsushita T, Uchio Y, Ochi M	他 整形外科
Neuroreport 28:19(8):799-803, 2008.	CD133+ cells from human peripheral blood promote corticospinal axon regeneration.	Yamamoto R, Ishikawa M, Tanaka N, Kamei N, Nakanishi K, Sasaki H, Nakamae T, Mochizuki Y, Asahara T, Ochi M.	他 整形外科
Scandinavian journal of plastic and reconstructive surgery and hand surgery. 42(3):164-167, 2008.	Low-grade myofibroblastic sarcoma of the palm.	Nagata Y, Matsuno T, Hamada N, Shimose S, Arihiro K, Ochi M	他 整形外科
Artificial Organs 32(7):519-524, 2008	Transplantation of meniscus regenerated by tissue engineering with a scaffold derived from a rat meniscus and mesenchymal stromal cells derived from rat bone marrow.	Takuma Yamasaki, Rikuo Shinomiya, Yuji Yasunaga, Shinobu Yanada, and Mitsuo Ochi	他 整形外科
Knee surgery sports traumatology arthroscopy 16(10):916-920, 2008.	Magnetic force-assisted meniscal resection under arthroscopy.	Takeo Yukawa, Mitsuo Ochi, Takaaki Kobayashi, Nobuo Adachi, Mitsuhiro Nakamura, Kiyotaka Yamada.	他 整形外科
Knee surgery sports traumatology arthroscopy 16(8):753-758, 2008.	Artificial bone grafting [calcium hydroxyapatite ceramic with an interconnected porous structure (IP-CHA)] and core decompression for spontaneous osteonecrosis of the femoral condyle in the knee.	Masataka Deie, Mitsuo Ochi, Nobuo Adachi, Makoto Nishimori, Kazunori Yokota.	他 整形外科
The Journal of Hand Surgery 33E:3:337-341, 2008.	A NEW METHOD OF NERVE BRIDGING WITH A COLLAGEN MESOTHELIAL TUBE	K.Ryoke, U. Nshikawa, M. Ochi and Y. Uchio	他 整形外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Foot and Ankle International 29(9)950-955, 2008.	Late-stage freoberg disease treated by osteochondral plug transplantation: A case series.	Wataru Miyamoto, MD; Masato Takao, MD, PhD; Yuji Uchio, MD, PhD; Taisuke Kono, MD, PhD; Mitsuo Ochi, MD, PhD.	他 整形外科
Knee surgery sports traumatology arthroscopy 17(6):561-577, 2009. Epub 2008 Nov 20.	Clinical application of scaffolds for cartilage tissue engineering.	Iwasa J, Engebretsen L, Shima Y, Ochi M.	他 整形外科
J Exp Clin Cancer Res. 23;27(1):73, 2008.	Immunohistochemical expression of promyelocytic leukemia body in soft tissue sarcomas.	Matsuo T, Sugita T, Shimose S, Kubo T, Ishikawa M, Yasunaga Y, Ochi M.	他 整形外科
Journal of neurosurgery. Spine ;9(6):611-620, 2008.	Modulation of the secondary injury process after spinal cord injury in Bach1-deficient mice by heme oxygenase-1.	Yamada K, Tanaka N, Nakanishi K, Kamei N, Ishikawa M, Mizuno T, Igarashi K, Ochi M.	他 整形外科
Journal of spinal disorders & techniques. 21(8):547-552, 2008.	Expansive laminoplasty for cervical myelopathy with interconnected porous calcium hydroxyapatite ceramic spacers: comparison with autogenous bone spacers.	Tanaka N, Nakanishi K, Fujimoto Y, Sasaki H, Kamei N, Hamasaki T, Yamada K, Yamamoto R, Nakamae T, Ochi M.	他 整形外科
Oncogene 27;3465-3474, 2008.	Overexpression/enhanced kinase activity of BCR/ABL and altered expression of Notch1 induced acute leukemia in p210BCR/ABL transgenic mice	T Mizuno, N Yamasaki, K Miyazaki, T Tazaki, R Koller, H Oda, Z-i Honda, M Ochi, L Wolff and H Honda.	他 整形外科
Journal of neurosurgery; 110(4):758-767, 2009.	Regeneration of peripheral nerve after transplantation of CD133+ cells derived from human peripheral blood.	Kijima Y, Ishikawa M, Sunagawa T, Nakanishi K, Kamei N, Yamada K, Tanaka N, Kawamata S, Asahara T, Ochi M.	他 整形外科
Acta radiologica 49 (8) 928-933, 2008.	Differential Diagnosis between Osteomyelitis and Bone Tumors.	S. Shimose, T. Sugita, T. Kobo, T. Matsuo, H. Nobuto and M. Ochi.	他 整形外科
Science Direct C28;1319-1321, 2008	Comparison of the protein profiles between the achilled and patella tendon in rats.	Yoshimasa Ishi, Masataka Deie, Nobuo Adachi, Osamu Haseki, Naoki Okamura, Patrick Sharman, Yuji Yasunaga, Mitsuo	他 整形外科
J Am Acad Dermatol. 59(5 Suppl):S88-91, 2008	Scalp metastasis from malignant fibrous histiocytoma of bone.	Kubo T, Shimose S, Matsuo T, Arihiro K, Ochi M.	他 整形外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Br J Dermatol 158(3):629-631,2008	Adrenergic urticaria in a patient with cholinergic urticaria.	Mihara S, Hide M.	皮膚科
Allergol. Int.57(4):347-358,2008	Applying surface plasmon resonance to monitor the IgE-mediated activation of human basophils.	Suzuki, H., Yanase, Y., Tsutsui, T., Ishii, K., Hiragun, T., Hide, M	皮膚科
J. Immunol.180(4):2233-2239,2008	Canonical transient receptor potential 5 channel in conjunction with Orail and STIM1 allows Sr2+ entry, optimal influx of Ca2+, and degranulation in a rat mast cell line.	Ma, H. T., Peng, Z., Hiragun, T., Iwaki, S., Gilfillan, A. M., and Beaven M. A.	皮膚科
西日本皮膚科,70(2):129-130,2008	Davis紫斑	原 武、田中稔彦、亀好良一、秀 道広	皮膚科
Arch Dermatol Res.300(2):95-99,2008	Development of autoantibody responses in NC/Nga mice: its prevention by pulverized konjac glucomannan feeding.	Onishi N, Kawamoto S, Suzuki H, Hide M, Ono K.	皮膚科
J Dermatol Sci.53(3):241-243,2009	Effects of non-steroidal anti-inflammatory drugs (NSAIDs) on serum allergen levels after wheat ingestion.	Matsuo H, Kaneko S, Tsujino Y, Honda S, Kohno K, Takahashi H, Mihara S, Hide M, Aburatani K, Honjoh T, Morita E.	皮膚科
Biosensors Bioelectronics.23(11):1652-1658,2008	Surface plasmon resonance biosensor detects the downstream events of active PKC β in antigen-stimulated mast cells	Maiko Tanaka, Takaaki Hiragun, Tomoko Tsutsui, Yuhki Yanase, Hidenori Suzuki, Michihiro Hide	皮膚科
Br J Dermatol.160(2):426-428,2008	Sweat antigen induces histamine-release from basophils of patients with cholinergic urticaria associating with atopic diathesis	S. Takahagi, T. Tanaka, K. Ishii, H. Suzuki, Y. Kameyoshi, H. Shindo, and M. Hide	皮膚科
皮膚病診療.30(6):695-698,2008	topical haemotherapyが有効であった難治性糖尿病性足趾潰瘍	原武, 三原祥嗣, 堀郁子, 中村吏江, 秀道広	皮膚科
Visual Dermatol.7(9):1002-1003,2008	アトピー性皮膚炎(汗が関与したとかがえられるもの)	高萩俊輔、秀 道広	皮膚科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
皮膚臨床.50(2):147-150,2008	アトピー性皮膚炎に合併した皮膚原発未分化大細胞リンパ腫の1例	渡辺真記子、永田敬二、信藤 肇、秀道広	皮膚科
アレルギー.57(2):130-137,2008	アトピー性皮膚炎に対する学校でのシャワー浴の効果	亀好良一、田中稔彦、望月 満、高路 修、三原祥嗣、平郡隆明、田中麻衣子、秀道広	皮膚科
アレルギーの臨床.28(3):1131-1134	アトピー性皮膚炎とスキンケア	信藤肇、高萩俊輔、秀道広	皮膚科
皮膚科の臨床.50(10):1181-1184,2008	外陰黒色腫の1例	柳瀬 哲至、大原國章	皮膚科
医学と薬学.59(5):917-924,2008	自動分析装置によるヒスタミン遊離試験の臨床的有用性の検討	伊藤節子、宇理須厚雄、各務美智子、木村彰宏、佐守友仁、秀道広、亀好良一、田中稔彦、三原祥嗣、	他 皮膚科
日本皮膚病理組織学会会誌.24(2):44-47,2008	新生児ループスエリテマトーデスの1例	信藤 肇、秀道広	皮膚科
皮膚科の臨床.50(1):77-80,2008	全身性エリテマトーデスに生じたサイトメガロウイルス肺炎	岩本和真、大原直樹、三原祥嗣、熊谷和彦、秀道広	皮膚科
Visual Dermatology.7(1):46-47,2008	頭部のBCE	柳瀬 哲至、大原國章	皮膚科
日皮会誌.118(3):325-342,2008	日本皮膚科学会アトピー性皮膚炎診療ガイドライン	古江増隆、佐伯秀久、古川福実、秀道広、大槻マミ太郎、中村敏明、佐々木りか子、須藤 一、竹原和彦	皮膚科
Medicina.45(11):2046-2047,2008	診断に迷う病態・頭のすみに置きたい疾患 episodic angioedema associated with eosinophilia(Gleich症候群)	信藤肇、秀道広	皮膚科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
皮膚科の臨床.50(3):428-429,2008	椎骨動脈破裂をきたした神経線維腫症1型の1例	原 武、三原祥嗣、秀道広、岩崎泰昌	皮膚科
医学と薬学.60(6):797-803,2008	蕁麻疹	岩本和真、亀好良一、秀道広	皮膚科
臨床皮膚科.63(2):133-136,2009	全身の乾皮症と色素沈着を呈した小児皮膚筋炎の1例	岩本和真、三原祥嗣、信藤肇、横林ひとみ、岡部勉、但馬剛、川口浩史、小林正夫、秀道広	皮膚科
皮膚病診療.31(1):25-28,2009	遅延性圧蕁麻疹	森桶 聡、高萩俊輔、亀好良一、秀道広	皮膚科
皮膚科の臨床.51(8):1061-1064,2009	メシル酸イマチニブが奏功した Fibrosarcomatous Variant of Dermatofibrosarcoma Protuberans の1例	菅 崇暢、平郡隆明、高萩俊輔、水野敏子、野田英貴、有廣光司、秀道広	皮膚科
中国労災病院医誌.18(1):22-25,2009	頭部有棘細胞癌に対するMohs' pasteの使用経験	菅 崇暢、野田英貴、曾根由佳里、政川真梨子、桐林芳江	皮膚科
皮膚科の臨床.51(9):1194-1195,2009	肛囲溶連菌性皮膚炎の1例	河合幹雄、秀道広	皮膚科
J Am Acad Dermatol.60(4):595-603,2009	A randomized double-blind trial of intravenous immunoglobulin for pemphigus.	Amagai M, Ikeda S, Shimizu H, Iizuka H, Hanada K, Aiba S, Kaneko F, Izaki S, Tamaki K, Ikezawa Z, Takigawa M, Seishima M, Tanaka T, Miyachi	皮膚科
BBRC.387(3):435-439,2009	Peritoneal injection of fucoidan suppresses the increase of plasma IgE induced by OVA-sensitization	Yanase Y, Hiragun T, Uchida K, Ishii K, Oomizu S, Suzuki H, Mihara S, Kameyoshi Y, Hide M.	他皮膚科
Int Arch Allergy Clin Immunol .152(2):122-130,2009	Hydrolyzed konjac glucomannan suppresses IgE production in mice B cells	Suzuki H, Oomizu S, Yanase Y, Onishi N, Uchida K, Mihara S, Ono K, Kameyoshi Y, Hide M.	皮膚科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Radiology,2008.8	Anterior chamber configuration in patients with glaucoma: MR gonioscopy evaluation with half-fourier single-shot RARE sequence and microscopy coil	谷為恵三 曾根隆志	他眼科
Investigative Ophthalmology & Visual Science 49 (10):pp.4453-4457,2008.10	Association of Toll-like receptor 4 gene polymorphisms with normal tension glaucoma.	澁谷 悦子 木内良明 金本尚志	他眼科
Investigative Ophthalmology & Visual Science 50(1): pp.242-248,2009.1.	Elevated Intraocular Pressure, Optic Nerve Atrophy, and Impaired Retinal Development in ODAG Transgenic Mice	佐々木崇暁 木内良明	他眼科
International Ophthalmology 29(3): pp.161-167,2009.3	Changes in foveal thickness after vitrectomy for macular edema with branch retinal vein occlusion and intravitreal vascular endothelial growth factor.	山崎真紀子 木内良明	他眼科
Journal of glaucoma 18(2):pp.161-164,2009.1	Double hump sign in indentation gonioscopy is correlated with presence of plateau iris configuration regardless of patent iridotomy	木内良明	他眼科
American Journal of Roentgenology 190 (6):1561-1568,2008.6	Optimal cardiac phase for coronary artery calcium scoring on single-source 64-MDCT Scanner:least interscan variability and least motion artifacts	松浦 範明	他放射線診断科
Academic Radiology 15(8):958-965,2008.8	Variability of repeated coronary artery calcium scoring and radiation dose on 64-slice and 16-slice CT by prospective electrocardiograph-triggered and retrospective electrocardiograph-gated CT - a phantom study	堀口 純	他放射線診断科
広島医学 61(8):605-606,2008.8	Budd-Chiari症候群の1例(図説)	石川 雅基	他放射線診断科
Journal of Computer Assisted Tomography 32(6):877-881,2008-11	Evaluation of hepatocellular carcinoma supplied by the right inferior phrenic artery at initial treatment.	稗田 雅司	他放射線診断科
Academic Radiology 16(2):187-193,2009.2	Coronary artery calcium scoring on low-dose prospective electrocardiographically-triggered 64-slice CT	堀口 純	他放射線診断科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Cardiovascular and interventional radiology 32(2):250-254,2009.3	The anterior branch of the left inferior phrenic artery arising from the right inferior phrenic artery : an angiographic and CT study	稗田 雅司	他 放射線診断科
Urologia Internationalis 82(2):162-165,2009.3	Decrease of renal functin due to warm ischemia after laparoscopic partial nephrectomy:evaluation using 99mTc-DMSA renal scintigraphy.	太刀掛俊浩	他 放射線診断科
2008放射線治療計画ガイドライン pp.136-142,2008.4	胸部 III.肺癌に対する定位放射線治療	永田 靖	他 放射線治療科
日本臨牀 66(増刊6): pp.468-474,2008.8	肺癌 -基礎・臨床研究のアップデート- 臨床研究 IV.治療 放射線療法 早期肺癌に対する定位放射線照射	永田 靖	他 放射線治療科
2008放射線治療計画ガイドライン pp.225-232,2008.4	II.子宮体癌	兼安祐子	放射線治療科
画像診断 28(6): pp.522-528,2008.5	肺癌 -照射野決定のための画像診断のポイントと効果判定・経過観察の注意点-	永田 靖	放射線治療科
臨床婦人科産科 62(5):pp.677-687,2008.5	婦人科がん化学療法up to date【子宮頸癌2】 同時科学放射線療法のレジメンとその有効性	兼安祐子	放射線治療科
臨床放射線 53(11): pp.1621-1625,2008.11	中咽頭 (頭頸部の診断と治療 update 【放射線治療】2.各論)	永田 靖	放射線治療科
Am. J. Obstet. Gynecol. 199(4) 360 e1-e6.2008	Morphologic effects of epithelial ion channel on the mouse uterus: differences between raloxifene analogue (LY117018) and estradiol treatments.	信實 孝洋	他 産科婦人科
Clinica Chimica Acta 397(1) pp101-102 2008	Cell-free fetal DNA in the non-pregnant woman with thyroid disease disappeared after surgery.	谷川 美穂	他 産科婦人科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Anesth Resus 2009; 45 (1): 15-22.	Systolic arterial pressure variability reflects circulating blood volume in rabbits with lipopolysaccharide-induced shock.	江木暁子	他 麻酔科
日本集中治療医学会雑誌 2009; 16 (1): 77-78.	エアウエイスコープで抜管前の声門視認が可能か？	中村隆二	他 麻酔科
Anaesth Intensive Care 2009; 37 (3): 415-425.	Effects of propofol on calcium homeostasis in human skeletal muscle.	右田貴子	他 麻酔科
Hiroshima J Med Sci. 2009 Mar;58(1):37-44.	Induction of gamma delta T cells using zoledronate plus interleukin-2 in patients with metastatic cancer.	Nagamine I, Yamaguchi Y, Ohara M, Ikeda T, Okada M.	他 乳腺外科
Hepatobiliary Pancreat Dis Int. 2009 Feb;8(1):97-102.	Invasive ductal carcinoma of the pancreas showing exophytic growth.	Sanada Y, Yoshida K, Itoh M, Okita R, Okada M.	他 呼吸器外科
Ann Thorac Cardiovasc Surg. 2008 Oct;14(5):322-4.	Long survival after resection for lung metastasis of malignant peripheral nerve sheath tumor in neurofibromatosis 1.	Shimizu K, Okita R, Uchida Y, Hihara J.	他 消化器外科
Int J Oncol. 2009 Feb;34(2):563-72.	Targeting of CD4+CD25high cells while preserving CD4+CD25low cells with low-dose chimeric anti-CD2 antibody in adoptive immunotherapy of cancer.	岡田守人	他 呼吸器外科
Jpn J Clin Oncol. 2009 Mar;39(3):186-8. Epub 2009 Jan 8.	A feasibility study of induction pemetrexed plus cisplatin followed by extrapleural pneumonectomy and postoperative hemithoracic radiation for malignant pleural mesothelioma.	岡田守人	他 呼吸器外科
Oncol Rep. 2008 Dec;20(6):1545-51.	Decreased orotate phosphoribosyltransferase activity produces 5-fluorouracil resistance in a human gastric cancer cell line	岡田守人	他 呼吸器外科
Oncol Rep. 2008 Nov;20(5):1005-11.	Expression of orotate phosphoribosyltransferase in colorectal carcinoma: an immunohistochemical analysis in several components of neoplastic lesions.	岡田守人	他 呼吸器外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Br J Cancer. 2008 Sep 16;99(6):852-7.	A randomised phase II trial of preoperative chemotherapy of cisplatin-docetaxel or docetaxel alone for clinical stage IB/II non-small-cell lung cancer results of a Japan Clinical Oncology Group trial (JCOG 0204).	岡田守人	他 呼吸器外科
Cancer Immunol Immunother. 2009 Mar;58(3):441-7. Epub 2008 Aug 7.	Possible involvement of regulatory T cells in tumor onset and progression in primary breast cancer	岡田守人	他 呼吸器外科
J Thorac Oncol. 2008 Jun;3(6):612-6.	A feasibility study of postoperative adjuvant therapy of carboplatin and weekly paclitaxel for completely resected non-small cell lung cancer	岡田守人	他 呼吸器外科
Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2008 Apr;56(4):151-7.	Radical sublobar resection for lung cancer.	Okada M.	他 呼吸器外科
Lab Invest. 2008 May;88(5):504-14.	Expression of cell adhesion molecule 1 in malignant pleural mesothelioma as a cause of efficient adhesion and growth on mesothelium.	Ito A, Hagiwara M, Mimura T, Matsumoto M, Wakayama T, Iseki S, Yokozaki H, Okada M.	他 呼吸器外科
International Journal of Oncology 33: 129-136, 2008.7	Osteoprogenitor differentiation is not affected by immunomodulatory thalidomide analogs but is promoted by low bortezomib concentration, while both agents suppress osteoclast differentiation.	木村昭郎	他 血液内科
Leukemia 22(10): 1874-1881, 2008.10	Myelodysplastic syndrome with chromosome 5 abnormalities: a nationwide survey in Japan.	木村昭郎	他 血液内科
International Journal of Oncology 33: 1201-1213, 2008.12	Ectopic cyclin D1 overexpression increases chemosensitivity but not cell proliferation in multiple myeloma.	木村昭郎	他 血液内科
日本血栓止血学会誌 19(4):pp.510-519,2008.7	インヒビターのない血友病患者の急性出血、処置・手術における凝固因子補充治療のガイドライン	松下正、高田昇	他 血液内科
日本血栓止血学会誌 19(4):pp.520-539,2008.7	インヒビター保有先天性血友病患者に対する出血治療ガイドライン	田中一郎、高田昇	他 血液内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
みんなに役立つ血友病の基礎と臨床(編:白幡 聡)医薬ジャーナル社pp.365-372,2009.1	IV 血友病トータルケアシステムの構築 6.高齢患者のサポート	齋藤誠司、高田 昇 他	血液内科
haemophilia B Haemophilia 14:pp.1135-1137,2008	Management of haemostasis during haemodialysis in a patient with haemophilia B Haemophilia	T.FUJII, N.TAKATA, S.SAITO, T.NAITO, A.KIMURA	他 血液内科
日本血栓止血学会誌 19:140-153, 2008	わが国における後天性凝固因子インヒビターの実態に関する3年間の継続調査-予後因子に関する検討-	田中一郎、天野景裕、 藤井輝久、松下正、三 間屋純一、吉岡章、嶋 縁倫	他 血液内科
日本エイズ学会誌 9(1):47-53, 2007	中四国拠点病院に勤務する看護師対象のエイズ研修会の評価と今後の課題	河部康子、大江昌恵、 藤井輝久、木村昭郎	他 血液内科
Laboratory Investigation 89:47- 58,2009.1	PPAR- γ agonist attenuates renal interstitial fibrosis and inflammation through reduction of TGF- β	Toru Kawai	他 腎臓内科
Clinical nephrology 69(6):433-435,2008.6	Oral mizoribine pulse therapy for steroid-dependent focal segmental glomerulosclerosis	T.Doii	他 腎臓内科
Clinical nephrology 71(5):550-556,2009.5	Renal histology before and after effective enzyme replacement therapy in a patient with classical fabry's disease	S.Hirashio	他 腎臓内科
Nephrol Dial Transplant 23(11):3418- 26,2008.11	Activation of signal transducer and activator of transcription 3 correlates with cell proliferation and renal injury in human glomerulonephritis.	Tetsuji Arakawa	他 腎臓内科
Mol Cell Biol 28(12):4080-92,2008.6	DEC1 Modulates the Circadian Phase of Clock Gene Expression	Ayumu Nakashima	他 腎臓内科
J Nephrol 21(2):213- 20,2008.4	An oral adsorbent, AST-120, combined with a low-protein diet and RAS blocker, for chronic kidney disease.	Noriaki Yorioka	他 腎臓内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Gastrointest Endosc. 2008 Dec; 68(6): 1073-5	Comparison of EMR and endoscopic submucosal dissection for en bloc resection of early esophageal cancers in Japan.	Ishihara R, Narahara H.	他 腫瘍内科
Oncology. 2008;74(1-2):37-41. Epub 2008 Jun 10	Phase II study of a combination of S-1 and paclitaxel in patients with unresectable or metastatic gastric cancer	Narahara H, Taguchi T.	他 腫瘍内科
Lancet Oncol. 2008 Mar;9(3):215-21. Epub 2008 Feb 20	S-1 plus cisplatin versus S-1 alone for first-line treatment of advanced gastric cancer (SPIRITS trial)	Koizumi W, Narahara H.	腫瘍内科
Jpn J Clin Oncol. 2008 Mar;38(3):176-81. Epub 2008 Feb 16.	Multi-center phase II study for combination therapy with paclitaxel/doxorubicin to treat advanced/recurrent gastric cancer showing resistance to S-1 (OGSG 0302).	Takiuchi H, Narahara H.	腫瘍内科
Cancer Lett. 2009 Feb 8;274(1):25-32. Epub 2008 Sep 26.	EMP3 as a tumor suppressor gene for esophageal squamous cell carcinoma.	Fumoto S	他 腫瘍内科
Dis Esophagus. 2008;21(2):125-31.	Hypermethylation of p16 gene promoter correlates with loss of p16 expression that results in poorer prognosis in esophageal squamous cell carcinomas.	Fujiwara S, Fumoto S.	他 腫瘍内科
Int J Oncol. 2008 Feb;32(2):413-23.	Selection of a novel drug-response predictor in esophageal cancer: a novel screening method using microarray and identification of IFITM1 as a potent marker gene of CDDP response.	Fumoto S	他 腫瘍内科
癌と化学療法(0385-0684)36巻3号 Page417-424(2009.03)	切除不能胃癌におけるSecond-Line化学療法としてのS-1 Based Sequential Chemotherapyの有用性.	杉本直俊, 楢原啓之	他 腫瘍内科
Gastroenterological Endoscopy(0387-1207)50巻3号 Page427-431(2008.03)	赤外線電子内視鏡の進歩と胃癌診断における有用性の検討.	石原立, 楢原啓之	他 腫瘍内科
Journal of Oral Science 50(2): pp.167-174,2008.6	Teenagers' dental health attitudes and behavior in Japan: comparison by sex and age group	河村 誠	他 予防歯科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Int J Art Org 31:708-715, 2008.8	Enhancement of osteogenesis by concanavalin A in human bone marrow mesenchymal stem cell cultures	Sekiya K., Nishimura M., Suehiro F., Nishimura H., Hamada T., Kato Y.	他 咬合・義歯診療科
日本口腔外科学会雑誌 54(11):pp621-625,2008.11	著大な脂肪化を伴った頬部血管平滑筋腫の1例	新谷智明	他 顎口腔外科
日本口腔外科学会雑誌 54(7):pp698-702,2008.12	放射線療法とレチノイド投与後に骨様組織を形成した巨大な腺癌 (NOS) の1例	谷 亮治	他 顎口腔外科
Journal of Oral Science 50(4): pp.447-452,2008.12	Simultaneous interrelationship between the oral health behavior and oral health status of mothers and their children	岡田 貢	他 障害者歯科
Archives of Oral Biology, 53, 330-336, 2008.	Inhibition of the proliferation of human periodontal ligament fibroblasts by hyaluronidase	Tanimoto K., Nakatani Y., Tanaka N., Tanne K	他 矯正歯科
Archives of Oral Biology, 53, 318-323, 2008.	Cementoblast response to low- and high-intensity ultrasound; Dalla-Bona D.A.,	Tanaka E., Inubushi T., Oka H., Ohta A., Okada H., Miyauchi M., Takata T., Tanne K	他 矯正歯科
Angle Orthodontist, 78, 181-188, 2008.	Skeletal anchorage for orthodontic correction of severe maxillary protrusion after previous orthodontic treatment	Tanaka E., Nishi-Sasaki A., Hasegawa T., Nishio C., Kawai N., Tanne K	他 矯正歯科
Archives of Oral Biology, 53, 478-487, 2008.	Expression and activity of Runx2 mediated by hyaluronan during chondrocyte differentiation	Tanne Y., Tanimoto K., Tanaka N., Ueki M., Lin Y.Y., Ohkuma S., Kamiya T., Tanaka E., Tanne K.	他 矯正歯科
Journal of Biomechanics, 41, 1119-1123, 2008.	Dynamic shear behavior of mandibular condylar cartilage is dependent on testing direction	Tanaka E., Iwabuchi Y., Rego E.B., Tanne K	他 矯正歯科
Annals of Biomedical Engineering, 36, 793-800, 2008.	The effect of mechanical loading on the metabolism of growth plate chondrocytes	Ueki M., Tanaka N., Tanimoto K., Nishio C., Honda, Tanne K.:	他 矯正歯科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, 66, 462-468, 2008.	Modeling of the effect of friction in the temporomandibular joint on displacement of its disc during prolonged clenching	Tanaka E., Hirose M., Koolstra J.H., van Eijden T.M., Iwabuchi Y., Fujita R., Tanaka M., Tanne K	他 矯正歯科
Journal of Orthodontics, 35, 5-15, 2008.	A case of anterior open bite with severely narrowed maxillary dental arch and hypertrophic palatine tonsils	animoto K., Suzuki A., Nakatani Y., Yanagida T., Tanne Y., Tanaka E., Tanne K.	他 矯正歯科
Journal of Orofacial Pain, 22, 153-162, 2008.	Jaw-muscle activity changes after the induction of osteoarthritis in the temporomandibular joint by mechanical loading:	Kawai N., Tanaka E., Langenbach G.E., van Wessel T., Sano R., van Eijden T.M., Tanne K	他 矯正歯科
Archives of Oral Biology, 53, 785-790, 2008.	Comparative properties of recombinant human and bovine matrix metalloproteinase-20	Zhu L., Tanimoto K., Robinsin S., Chen J., Witkowska E., Hall S., Le T., Denbesten P.K., Li W	他 矯正歯科
Journal of Dental Research, 87, 39-44, 2008	Effects of fluoride on the interactions between amelogenin and apatite crystals: Tanimoto K	Le T., Zhu L., Chen J., Featherstone J.D., Li W., Denbesten P.K.	他 矯正歯科
Journal of Dental Research, 87, 451-455, 2008.	Reduced amelogenin-MMP20 interactions in amelogenesis imperfecta	Tanimoto K., Le T., Zhu L., Witkowska H.E., Robinson S., Hall S., Hwang P., Denbesten P.K., Li W	他 矯正歯科
Angle Orthodontist, 78, 1110-1118, 2008.	An adolescent patient with multiple impacted teeth	Tanaka E., Kawazoe A., Nakamura S., Ito G., Hirose N., Tanne Y., Kawai N., Tanimoto K., Tanne K.	他 矯正歯科
Journal of Bone and Mineral Research, 23, 939-948, 2008.	Overexpression of fibroblast growth factor 23 suppresses osteoblast differentiation and matrix mineralization in vitro	Wang H., Yoshiko Y., Yamamoto R., Minamizaki T., Kozai K., Tanne K., Aubin J.E., Maeda N	他 矯正歯科
BMC Developmental Biology, 8, 17, 2008.	The PPAR gamma-selective ligand BRL-49653 differentially regulates the fate choices of rat calvaria versus rat bone marrow stromal cell populations	Hasegawa T., Oizumi K., Yoshiko Y., Tanne K., Maeda N., Aubin J.E.	他 矯正歯科
Journal of Periodontology, 79, 1984-1990, 2008.	Effects of ultrasound on the proliferation and differentiation of cementoblast lineage cells	Inubushi T., Tanaka E., Rego E.B., Kitagawa M., Kawazoe A., Ohta A., Okada H., Koolstra J.H., Miyauchi M., Takata T., Tanne	他 矯正歯科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Biomedical Research, 29, 181-187, 2008.	VEGF and M-CSF levels in periodontal tissue during tooth movement	Kaku M., Motokawa M., Tohma Y., Tanne K	他 矯正歯科
Journal of Maxillofacial and Oral Surgery, 7, 374-377, 2008.	Orthodontic facilitation of mandibular growth using activator appliances in a patient with a unilateral condylar fracture	Fujita T., Ohtani J., Tanne K	他 矯正歯科
Ann Biomed Eng, 36, 14-29, 2008.	Lubrication of the temporomandibular joint	Tanaka E., Detamore M.S., Tanimoto K., Kawai N.:	他 矯正歯科
日本顎変形症学会雑誌, 18,	本邦における顎変形症治療の実態調査	小林正治, 齊藤 力, 丹根一夫	他 矯正歯科
新医療, 153-157, 2008.	産学連携による医療の新展開 先進的医療・バイオ推進を中心にした産学連携の展開	丹根一夫	他 矯正歯科
中・四国矯正歯科学会雑誌, 20, 61-70, 2008.	鎖骨頭蓋異骨症を伴う一卵性双生児における口腔顎顔面形態	白倉麻耶, 山野栄三, 花岡宏一, 田中栄二, 丹根一夫	他 矯正歯科
中・四国矯正歯科学会雑誌, 20, 85-95, 2008.	スケルタル・アンカレッジ・システム(SAS)を用いて上下顎歯列の遠心移動を行った叢生の非抜歯治療例	なつみ, 柄 博治, 柄 陽子, 丹根一夫	他 矯正歯科
apanese Dental Science Review, 44, 38-47, 2008.	Degenerative changes of articular cartilage in association with mechanical stimuli	Tanne K	他 矯正歯科
デンタルダイヤモンド, 33, 61-67, 2008.	移植歯の歯根膜が有するインプラントにはない歯周組織再生能-「歯の銀行」を通じて歯の存在意義と歯科医師の役割を考える-	加来真人, 河田俊嗣, 本川雅英, 小跡弘幸, 丹根一夫	他 矯正歯科
矯正臨床ジャーナル, 5, 11-17, 2008.	「歯の銀行」と矯正歯科治療の目標-歯科医師が求められるもの-	加来真人, 河田俊嗣, 本川雅英, 丹根一夫	他 矯正歯科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
中・四国矯正歯科学会雑誌, 20, 47-53, 2008.	重度開咬症例の長期治療経過	上田 宏	他 矯正歯科
歯科矯正学(相馬邦道、他編)第5版, 医歯薬出版(東京), 193-196, 2008.	矯正用材料の特性	丹根一夫	他 矯正歯科
歯科矯正学(相馬邦道、他編)第5版, 医歯薬出版(東京), 326-331, 2008.	顎関節症の矯正歯科治療	丹根一夫	他 矯正歯科
Quintessence (Tokyo), 80-86, 2008	Current Experimental Study for Treatment of Cleft Lip and Palate	Toshitsugu Kawata	他 矯正歯科
Quintessence (Tokyo), 97-100, 2008	Current Experimental Study for Treatment of Cleft Lip and Palate:	Toshitsugu Kawata	他 矯正歯科
Quintessence (Tokyo), 101-102, 2008	Current Experimental Study for Treatment of Cleft Lip and Palate: Tsuyoshi Kawai et al	Toshitsugu Kawata	他 矯正歯科
Orthodontic Waves-jpn 67(4):pp.125-131,2008.10	ラット上顎骨に植立した矯正用ミニスクリューの安定性の検討	大谷淳二	他 矯正歯科
矯正臨床ジャーナル 25(1):pp.99-104,2009.1	より安全で確実な矯正用インプラントの植立 ミニスクリュー植立時におけるリスクマネジメント(その1)	大谷淳二	他 矯正歯科
矯正臨床ジャーナル 25(3):pp.41-50,2009.3	より安全で確実な矯正用インプラントの植立 ミニスクリュー植立時におけるリスクマネジメント(その2)	大谷淳二	他 矯正歯科

計 9

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを

を記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

計 379

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 越智 光夫
管理担当者氏名	総務Gリーダー 盛井 隆 , 医事Gリーダー 熊谷 圭司

		保管場所	分類方法	
診療に関する諸記録				
病院日誌		総務グループ	カルテは、1患者1カルテで中央病歴管理室で保管管理し、エックス線写真は、各診療科で保存管理している。	
各科診療日誌, 手術記録, 看護記録, 検査所見記録, エックス線写真, 紹介状, 退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		各診療科及び中央病歴管理室		
処方せん		薬剤部		
病院の管理及び運営に関する諸記録	従事者数を明らかにする書類	総務グループ		
	高度の医療の提供の実績	医事グループ		
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務グループ		
	高度の医療の研修の実績	総務グループ		
	閲覧実績	総務グループ		
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事グループ		
	入院患者数, 外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事グループ 薬剤部		
	規則第9条の23及び第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況		医療安全管理部
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況		医療安全管理部
		医療に係る安全管理を行う部門の配置状況		医療安全管理部
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況		医療相談室
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況		各診療科
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況		医療安全管理部
医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況		医療安全管理部		
医療機関内の事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策状況	医療安全管理部			

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	医療安全管理部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療安全管理部
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療安全管理部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	リスクマネジメントグループ
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	リスクマネジメントグループ
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME 機器管理室
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME 機器管理室		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	運営支援部長	西田良一
閲覧担当者氏名	総務Gリーダー	盛井隆
閲覧の求めに応じる場所	総務グループ室	

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	67.1%	算定期間	平成20年4月1日～平成21年3月31日
算出根拠	A：紹介患者の数		15,119人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		5,028人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		1,109人
	D：初診の患者の数		26,611人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第9条の23及び第1条の11各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (2名)・無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (1名)・無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員：専任(3)名, 兼任(19)名 (医療安全管理室13名, 感染管理室10名(重複(専任感染対策担当者)含む)) ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1) リスクマネジメント業務の総括 2) 医療事故等に関連する情報の収集、調査、分析 3) 医療事故に関するカルテ等の記載内容の点検及び指導 4) 患者及び家族への説明等について、医療事故発生時の対応状況の確認及び指導 5) 医療事故等の原因究明の実施確認及び指導 6) 医療事故防止にかかる教育・研修及びその環境整備 7) 医療の質向上 8) 病院内の各種マニュアルの管理 9) 院内感染防止に関連する情報の収集、調査、分析及び指導 10) 院内感染防止のための対策及び啓発の企画・立案並びに情報提供 11) 院内感染症のコンサルテーション 12) 院内感染サーベイランス 13) 院内感染情報のデータベース化 14) 病院における定期的な巡視 	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容 【医療安全管理のための指針】 1. 医療安全管理に関する基本的な考え方 2. 用語の説明 <ol style="list-style-type: none"> 1) 医療上の事故等 2) インシデント 3) 医療過誤 4) 医療事故 5) 合併症 3. 医療安全管理に関する推進方法 <ol style="list-style-type: none"> 1) 医療安全管理体制の構築 2) 医療事故・インシデントなどの報告制度の確立 3) 職員に対する医療安全教育・研修の実施 4) 事故発生時の対応方法の確立 5) 医療事故の公表と報告 <ol style="list-style-type: none"> ① 医療機関への報告・公表 ② 公表する範囲 ③ プライバシーの尊重 ④ 当事者に対する配慮 ⑤ 警察への報告 	

⑥ 社会への公表

- 4. 医療安全管理に関する指針の閲覧について
- 5. 患者相談窓口について

⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年77回
<p>・ 活動の主な内容</p> <p>○ 医科・歯科共通</p> <p>1) 「医療事故防止等対策委員会」は、月1回開催し、本院の医療安全管理の統括的な事項について審議する委員会で、「患者影響レベル判定小委員会」及び「医療事故防止等対策小委員会」を統括し、医療の安全、医療事故の防止、医療訴訟に関する事故を審議する。</p> <p>また、「医療事故防止等対策委員会」は、「患者影響レベル判定小委員会」、「医療事故防止対策小委員会」及び「医療安全管理室会議」から改善策等の審議内容の報告を受けて審議決定し改善策やマニュアルについて医療安全管理部に周知徹底するようフィードバックする。</p> <p>2) 「感染症対策委員会」は、月1回開催し、院内の感染防止のための調査、研究、対策に関する事項の統括審議を行い、また、小委員会の審議結果の調整及びその他感染症に関する事項を行う。</p> <p>○ 医科領域</p> <p>1) 「患者影響レベル判定小委員会」は、インシデントレポートの患者影響レベルの判定と医療事定義に照らして、患者影響レベル3b以上の事象については医療事故か医療事故でないかを、2週間に1回判定し、病院長に報告する。</p> <p>2) 「医療安全管理室会議」は、毎週1回開催し、医療安全対策の推進及び啓発のために必要な企画・立案及び評価を行うとともに、医療現場において機能的に対処・指導を行い、病院内の医療安全に関する対策と意識向上を図る。</p> <p>3) 「感染症対策小委員会」(医科領域)は、月1回開催し、医科領域に関し、院内の感染防止のための対策、感染情報レポートの分析・活用及び針刺し(穿刺)感染に関する事項の審議を行う。また、感染防止に係る教育・研修及び院内感染防止に係るマニュアルの策定・改訂に関する事項を審議し、周知徹底するようフィードバックする。</p> <p>○ 歯科領域</p> <p>1) 「医療事故防止等対策小委員会」は、月1回開催し、歯科領域のインシデントレポートに基づき、患者影響レベルの判定及び医療事故の防止策等を審議する。また、医療事故の可能性がある事例については病院長へ報告する。</p> <p>2) 「感染症対策小委員会」(歯科領域)は、月1回開催し、歯科領域に関し、院内の感染防止のための対策、感染情報レポートの分析・活用及び針刺し(穿刺)感染に関する事項の審議を行う。また、感染防止に係る教育・研修及び院内感染防止に係るマニュアルの策定・改訂に関する事項を審議し、周知徹底するようフィードバックする。</p>	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年9回
<p>・ 研修の主な内容:別紙①のとおり</p>	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備</p>	<p>① ・ 無</p>

・その他の改善のための方策の主な内容:

○医科・歯科共通

- 1) インシデント報告制度の目的や趣旨が十分に伝わるように研修会やリスクマネジャー会議をとおして伝達している。
- 2) 病院全体に係る重要事象の分析・改善策は医療安全管理部で検討し、医療事故防止等対策委員会で審議のうえ、病院運営会議で報告し、改善策の周知徹底を図る。
- 3) 院内安全巡視等を行うことで、改善状況を評価する。
- 4) 発生した重要なインシデントについては、現場のリスクマネジャーを中心にチームで分析・改善策を検討し、医療安全管理部に報告する。医療安全管理部は、必要に応じて事実確認及び詳細な情報収集を行い、要因を特定し、対策を立案し、医療事故防止等委員会へ報告するとともに、リスクマネジャー会議へフィードバックする。
- 5) 月々のインシデントレポートのマクロ的な集計結果及び重要事象の分析結果をリスクマネジャー会議で報告し、情報の共有化を図る。
- 6) リスクマネジャー会議においてインシデントの事例についてグループワークを行い、発表をとおし、医療安全管理に関して再認識を図る。
- 7) 感染対策の実務を行うICT活動を実施し、情報の収集と対策について、現場へフィードバックをする。

平成20年度 医療安全管理職員研修会

	テ　　マ	講　　師	対　象	日　時・場　所	参加者
1	「インフォームド・コンセントと説明・同意文書のあり方」	東京大学大学院医学研究科医療安全管理学 講座准教授 前田正一	職員全員	4月28日(月)18:00～19:15 第5講義室	305
2	「院内感染対策について」	長崎大学医学部長 河野 茂	職員全員	6月24日(火)18:00～19:15 医学部第5講義室	383
3	「迫り来る感染症の脅威:パンデミックにいかに対応していくべきか」	東北大学大学院医学系研究科教授 賀来満夫	職員全員	9月4日(木)17:45～18:45 医学部第5講義室	208
4	「がん治療における局所合併症軽減, 肺炎の予防・軽減のための口腔ケア」	静岡県立静岡がんセンター 歯科・口腔外科部長 大田洋二郎	職員全員	9月10日(水)17:45～19:00 歯学部大講義室	132
5	医療安全管理活動推進週間 「ポスター・標語募集と表彰」 講演「抗血小板薬・抗凝固薬の休薬に関する危険性について学ぶ」	優秀他表彰 講師:麻酔科蘇生科・脳神経内科・循環器内科・光 学医療診療部・薬剤部	職員全員	①11月4日(火)・②7日(金)17:45～19:00 第5講義室	473
6	「医療訴訟ガイダンス」	広島地方裁判所 判事2名、判事補2名	職員全員	11月25日(火)17:45～19:00 第5講義室	235
7	「院内感染対策(MRSA対策を中心に)」	静岡県西部浜松医療センター 副院長兼感染症科科長 矢野邦夫	職員全員	平成21年3月13日(金)18:00～19:00 第5講義室	197
8	「HIV/AIDS診断を考える」	神戸大学大学院医学研究科教授 岩田健太郎	職員全員	平成21年3月19日(金)17:45～19:00 第2講義室	71
9	「医療安全管理部・各部門年間活動報告」	報告者: 専任リスクマネージャ, 専任感染対策担当者 ほか8名	職員全員	①平成21年3月2日(月)17:45～19:00 ②平成21年3月17日(火)17:45～19:00 第5講義室	336

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有 ・ 無
<p>・ 指針の主な内容:</p> <p>【院内感染対策のための指針】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 院内感染対策に関する基本的な考え方 2. 院内感染対策のための委員会等の組織に関する基本的事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 感染症対策委員会 (2) 感染管理室 (ICT), リンクナース及び感染対策実践者 3. 院内感染対策のための従業員に対する研修に関する基本方針 4. 感染症発生状況の報告に関する基本方針 5. 院内感染発生時の対応に関する基本方針 <ol style="list-style-type: none"> (1) 通常時の対応 (2) 緊急時(重大な院内感染等の発生)の対応 6. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 7. 病院における院内感染対策の推進のために必要な基本方針 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年34回
<p>・ 活動の主な内容:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 「感染症対策委員会」は、月1回開催し、院内の感染防止のための調査、研究、対策に関する事項の統括審議を行い、また、小委員会の審議結果の調整及びその他感染症に関する事項を行う。 2) 「感染症対策小委員会」(医科領域)は、月1回開催し、医科領域に関し、院内の感染防止のための対策、感染情報レポートの分析・活用及び針刺し(穿刺)感染に関する事項の審議を行う。また、感染防止に係る教育・研修及び院内感染防止に係るマニュアルの策定・改訂に関する事項を審議し、周知徹底するようフィードバックする。 3) 「感染症対策小委員会」(歯科領域)は、月1回開催し、歯科領域に関し、院内の感染防止のための対策、感染情報レポートの分析・活用及び針刺し(穿刺)感染に関する事項の審議を行う。また、感染防止に係る教育・研修及び院内感染防止に係るマニュアルの策定・改訂に関する事項を審議し、周知徹底するようフィードバックする。 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年6回
<p>・ 研修の主な内容:別紙②のとおり</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有) ・ 無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容: 感染対策の実務を行うICT活動を実施し、情報の収集と対策について、現場へフィードバックをする。</p>	

平成20年度 医療安全管理職員研修会

	テ　　マ	講　　師	対　象	日　時・場　所	参加者
1	「院内感染対策について」	長崎大学医学部長 河野 茂	職員全員	6月24日(火)18:00～19:15 医学部第5講義室	383
2	「迫り来る感染症の脅威:パンデミックにいかに対応していくべきか」	東北大学大学院医学系研究科教授 賀来満夫	職員全員	9月4日(木)17:45～18:45 医学部第5講義室	208
3	「がん治療における局所合併症軽減, 肺炎の予防・軽減のための口腔ケア」	静岡県立静岡がんセンター 歯科・口腔外科部長 大田洋二郎	職員全員	9月10日(水)17:45～19:00 歯学部大講義室	132
4	「院内感染対策(MRSA対策を中心に)」	静岡県西部浜松医療センター 副院長兼感染症科科長 矢野邦夫	職員全員	平成21年3月13日(金)18:00～19:00 第5講義室	197
5	「HIV/AIDS診断を考える」	神戸大学大学院医学研究科教授 岩田健太郎	職員全員	平成21年3月19日(金)17:45～19:00 第2講義室	71
6	「医療安全管理部・各部門年間活動報告」	報告者: 専任リスクマネージャ, 専任感染対策担当者 ほか8名	職員全員	①平成21年3月2日(月)17:45～19:00 ②平成21年3月17日(火)17:45～19:00 第5講義室	336

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	(有) ・ 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容: ・ 「薬剤師からのワンポイントレクチャー～抗血小板薬・抗凝固薬の作用とその注意点～」 医療安全管理職員研修会報告 (H20年度) ・ 「薬剤部の業務内容と麻薬向精神薬の取り扱いについて」 新規採用研修医オリエンテーション報告 (H20年度) ・ 毎月のリスクマネージャー代表者会議でプレアボイド報告やインシデント内容の詳細な説明 ・ プレアボイド報告の中で重要な情報を院内情報システムを利用して職員に周知 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成 ((有) ・ 無) ・ 業務の主な内容: 手順書に基づく業務内容の確認 ・ 各業務の部門責任者及び業務担当責任者に手順書の業務内容に該当する項目が守られているか確認して頂き、確認後は業務手順点検表に確認者の署名(押印)を行っている。また、安全管理責任者が順次実施状況の確認が必要と思われる部門に出向いて確認も行っている。 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 ((有) ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容: ・ 薬剤部内や病棟業務の中で、副作用を未然に防いだ内容及び適正使用や疑義照会に関する内容を収集し、その内容を整理して院内の月1回のRM会議にて報告している。(プレアボイド報告) ・ さらに、月1回、薬剤部ニュースとして、これらの内容から注目すべき内容を取り上げて、処方例や簡潔な説明文を付けて、医療情報システム上にも広報している。 ・ インシデントレポートの中から安全使用に必要な情報を収集し、安全使用を目的とした対策を検討し、順次調剤内規などを改訂している。 	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	④・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 39回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容:別紙③のとおり 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の方策及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の策定 (④・無) ・ 保守点検の主な内容:別紙④のとおり 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (④・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容: 毎月開催されるSPD運営会議にて、今後の保守管理及び安全性の維持等についても情報の収集を行った。 	

平成20年度 医療機器の安全管理等に関する研修会実施報告書

番号	研修内容 (研修の対象となる医療機器の名称)	講師	対象者	参加者数	開催日時・場所	備考
1	新人看護職員研修 【心電図・輸液ポンプ・シリンジポンプ】	院内各担当者	新人看護師	119名	平成20年4月3日・4日・7日 8:30～12:00、13:00～16:30 病院大会議室	看護部
2	輸液ポンプ・シリンジポンプの取り扱い 【輸液ポンプ・シリンジポンプ】	院内SPDセンターME 機器管理室 臨床工学 技師	新規採用看護師	8名	平成20年4月3日 13:00～14:00 広島大学病院ME機器管理室	先進治療病棟
3	血液浄化機器の扱い方 【血液浄化装置】	院内医師	医師・看護師・臨床工 学技師	10名	平成20年4月4日 18:00～19:00 血液浄化療法部	第二内科
4	歯科用ユニットチェアの取り扱い 【歯科用チェアユニット】	院内歯科医師・各製造 メーカー担当者	新規採用歯科医師	46名	平成20年4月14日 15:00～18:00 口腔総合診療科診療室	口腔総合診療科
5	医療安全管理職員研修会(輸液ポンプ・ シリンジポンプの取り扱い) 【輸液ポンプ・シリンジポンプ】	(株)テルモ 担当者	新規採用研修医・中 途採用看護師	40名	平成20年4月18日～28日(4回)・8月4日 17:30～18:30 広島大学病院ME機器管理室	医療安全管理部
6	人工呼吸器ベビーログ講習会 【人工呼吸器】	ドレーゲルメディカルジャ パン(株)担当者	臨床工学技師	8名	平成20年5月12日 9:00～16:00 広島大学病院ME機器管理室	SPDセンター (ME機器管理室)
7	人工呼吸器の取り扱い 【人工呼吸器】	院内医師	病棟看護師	20名	平成20年5月20日 18:00～19:00 救急医学カンファレンスルーム	高度救命救急セ ンター・集中治療 部
8	看護職員研修 【AED】	院内各担当者	病棟看護師	118名	平成20年5月23日・28日・6月6日 17:30～19:00 病院大会議室	看護部
9	体外循環技術セミナー 【人工心肺装置】	体外循環医学会担当者	臨床工学技師	2名	平成20年5月24日～25日 9:00～16:00 京都テルサ	SPDセンター (ME機器管理室)
10	MR室への磁性体持ち込みの危険性につ いて 【磁気共鳴画像診断装置】	放射線部 穂山技師	医師・歯科医師・看護 師	約300名	平成20年5月26日・30日(2回) 17:45～18:45 医学部第5講義室	医療安全管理部
11	保育器の取り扱いについて 【保育器】	アトムメディカル(株) 担 当者	病棟看護師	5名	平成20年5月27日 17:30～19:00 病棟4Fカンファレンス2	NICU・周産母子 センター
12	新生児と保育器 【保育器】	アトムメディカル(株) 担 当者	病棟看護師	15名	平成20年5月27日 17:30～19:00 病棟4Fカンファレンス2	4東

平成20年度 医療機器の安全管理等に関する研修会実施報告書

番号	研修内容 (研修の対象となる医療機器の名称)	講師	対象者	参加予定者数	開催日時・場所	備考
13	中国地区の外部放射線治療を安全に実施するための講習会 中国ブロック統一講習会 【放射線治療装置】	放射線治療専門放射線技師	放射線技師	5名	平成20年5月31日 9:00～15:00 徳山中央病院	放射線部
14	看護職員研修 【人工呼吸器】	院内各担当者	病棟看護師	166名	平成20年5月16日 17:30～19:00 病院大会議室	看護部
15	人工呼吸器のモードと操作説明 【人工呼吸器】	院内臨床工学技師	病棟看護師	10名	平成20年6月～12月 17:30～18:30 病棟カンファレンスルーム	10西
16	人工呼吸器の取り扱いと装着患者の看護の研修 【人工呼吸器】	院内病棟教育担当看護師	新規採用・配置交代看護師	6名	平成20年6月 17:00～18:00 病棟カンファレンスルーム	4西・小児科
17	人工呼吸器ケア講習会 【人工呼吸器】	RST(呼吸器サポートチーム)	新規採用・配置交代・2年目看護師	10名	平成20年6月～11月まで毎月1回 17:00～18:00 病棟カンファレンスルーム	4西・小児科
18	人工呼吸器(ベビーログ)の取り扱いと使用前点検について 【人工呼吸器】	ドレーグルメディカルジャパン(株)担当者	病棟看護師	11名	平成20年6月12日～7月24日(4回) 17:30～19:00 病棟NICU	NICU・周産母子センター
19	血液浄化装置(CHDFの取り扱い) 【血液浄化装置】	院内医師・臨床工学技師	病棟看護師	20名	平成20年6月18日 17:30～19:00 平成20年6月24日 18:00～19:30 病棟3Fカンファレンスルーム	高度救命救急センター・集中治療部
20	血液浄化装置(CHDFの取り扱い) 【血液浄化装置】	旭メディカル 担当者	病棟医師	10名	平成20年6月20日 17:30～19:00 病棟3F医師控室	高度救命救急センター・集中治療部
21	人工呼吸器(サーボS)の取り扱い 【人工呼吸器】	院内医師・臨床工学技師	病棟看護師	23名	平成20年6月23日 17:30～19:00 病棟1F高度処置室	RST(呼吸器サポートチーム)
22	人工呼吸器の設定と使用方法について 【人工呼吸器】	院内臨床工学技師	病棟看護師	9名	平成20年6月25日 17:00～17:25 病棟1F高度処置室	8東
23	人工呼吸器装着患者の看護 【人工呼吸器】	院内病棟看護師	病棟看護師	28名	平成20年7月4日・24日 13:30～14:00 病棟スタッフステーション	9西
24	人工呼吸器ケア講習会 【人工呼吸器】	院内呼吸器サポートチーム	病棟看護師	108名	平成20年7月16日・8月13日・9月10日・10月8日・11月12日 17:30～19:00 病棟1F高度処置室	8西

平成20年度 医療機器の安全管理等に関する研修会実施報告書

番号	研修内容 (研修の対象となる医療機器の名称)	講師	対象者	参加予定者数	開催日時・場所	備考
25	医療機器安全基礎講習会 (第30回ME技術講習会) 【医療機器各種】	医療機器センター担当者	臨床工学技師	2名	平成20年7月12日 9:00~16:00 九州大学医学部	SPDセンター (ME機器管理室)
26	日本人工臓器学会教育セミナー (人工心肺・補助循環装置) 【人工呼吸器】	日本人工臓器学会担当者	臨床工学技師	2名	平成20年7月12日~13日 9:00~16:00 東京女子医大	SPDセンター (ME機器管理室)
27	人工呼吸器(ベビーログ)の取り扱い及び 使用前点検について 【人工呼吸器】	ドレーゲルメディカルジャ パン(株) 担当者	看護師・NICU医師	11名	平成20年7月14日・24日 17:30~18:00 NICU病棟	NICU
28	広島県臨床工学技士会勉強会 【除細動器】	(株)フィリップスエレクト ロニクスジャパン担当者	臨床工学技師	5名	平成20年7月24日 9:00~17:00 広島工業大学広島校舎	SPDセンター (ME機器管理室)
29	人工呼吸器HFOV講習会 【人工呼吸器】	イワキ(株)担当者	臨床工学技師	6名	平成20年8月中旬開催予定 16:00~18:00 広島大学病院ME機器管理室	SPDセンター (ME機器管理室)
30	全身麻酔器及び附属の人工呼吸器の取 り扱い研修 【全身麻酔器・人工呼吸器】	ドレーゲルメディカルジャ パン(株) 担当者	麻酔科医師・歯科麻 酔科医師・臨床工学 技師	10名	平成20年8月15日 17:00~18:00 医科手術室	手術部
31	呼吸療法認定講習会 【人工呼吸器】	呼吸療法認定講習担当者	臨床工学士	1名	平成20年9月29日・30日 9:00~16:00 品川プリンスホテル	SPDセンター (ME機器管理室)
32	プリベンティブ・メンテナンス (予防・保守) 【人工呼吸器】	フクダ電子(株)担当者	臨床工学技師	2名	平成20年10月15日・16日 9:00~17:00 フクダ電子(株)広島販売	SPDセンター (ME機器管理室)
33	血液浄化専門臨床工学技士の取得講 習会 【血液浄化装置】	JACET研修センター担 当者	臨床工学技師	1名	平成20年10月24日~26日 9:00~16:00 野口英世記念会館	SPDセンター (ME機器管理室)
34	NPPV(BiPAP)における呼吸管理、操作方 法 【人工呼吸器】	フジ・レスピロニク(株)担 当者	NPPVを使用している 病棟の看護師,PT	40名	平成20年10月23日~26日 17:00~18:00 病棟	RST(呼吸器サ ポートチーム)
35	歯科用ユニットチェアの取り扱い 【歯科用チェアユニット】	院内歯科医師・各製造 メーカー担当者	臨床実習予定歯学部 学生	60名	平成20年11月19日 15:00~17:00 口腔総合診療科診療室	口腔総合診療科
36	ベッドサイドモニター使用方法 【患者監視装置】	ドレーゲルメディカルジャ パン(株)担当者	看護師・助産師	15名	平成20年11月26日 16:30~17:00 病棟スタッフステーション	4東

平成20年度 医療機器の安全管理等に関する研修会実施報告書

番号	研修内容 (研修の対象となる医療機器の名称)	講師	対象者	参加予定者数	開催日時・場所	備考
37	広島県臨床工学技士会勉強会 【呼吸器】	フクダ電子(株)・ドレー ゲル光電(株)担当者	臨床工学技師	18名	平成20年12月4日 9:00~17:00 広島工業大学	SPDセンター (ME機器管理室)
38	上部消化管内視鏡の取り扱い 【内視鏡】	院内教授	研修医	8名	毎週木曜日 18:00~19:00 総合研究科外来	総合研究科
39	時期リニアック更新システムに関わる構造と操 作技術に関する習得及び安全運転について 【放射線治療装置】	導入メーカー技術・サー ビス部門	放射線技師	6名	平成21年2月16日~3月31日 17:30~18:30(計4回) 院内カンファレンスルーム	放射線治療部
40						
41						
42						
43						
44						
45						
46						
47						
48						

ME番号	機器名	商品名	型式	製造番号	製造元	卸業者	保有場所	点検期間	実施者	業者実質 必要経費	実質 必要経費	備考
90000174-001	人工心臓装置	3ノット人工心臓装置システム	SIII	★4352370	ソーリン	JCT	手術部	1年毎	業者	¥529,294	¥529,294	
90000170-001	遠心型血液ポンプ装置	HAP-21	HAP-21	★N8A02-06	日機装	JCT	手術部	1年毎	業者			
90000169-001	心筋保護液注入装置	HAD-11	HAD-11	★180261	MERA	JCT	手術部	1年毎	業者	¥544,511	¥544,511	
90000172-001	冷温水槽装置	HHC-211	HHC-211	★180055	MERA	JCT	手術部	1年毎	業者			
90000171-001	HCP-100	HCP-100	HCP-100	★70222	MERA	JCT	手術部	1年毎	業者			
90000229-001	CAPIOX	SP101-S	SP101-S	★00211001	TERUMO	成和	ME機器管理室	駆動時間毎	業者	¥75,600	¥75,600	
90000227-001	Datascope	SYSTEM98	SYSTEM98	★5804744-B1	データスコブ	カニシ	ME機器管理室	駆動時間毎	業者	¥172,200	¥172,200	
90000226-001	Datascope	SYSTEM97	SYSTEM97	★S79140-K7	データスコブ	カニシ	手術部	1年毎	業者	-	¥0	保守サービス終了、更新検討機器
90000228-001	CAPIOX	SP101	SP101	★9812005	TERUMO	カニシ	手術部	1年毎	業者	¥67,200	¥67,200	
90000227-002	Datascope	SYSTEM98	SYSTEM98	★S82460E9	データスコブ	カニシ	放射線部	1年毎	業者	¥405,615	¥405,615	病棟カテ設置
90000004-001	血液浄化装置	KPS-8800Ce	KPS-8800Ce	★02C8C054	ケル	カニシ	ME機器管理室	1年毎	業者	¥157,500	¥157,500	
90000001-001	ACH-10	ACH-10	ACH-10	★80505	旭化成クレマティカル	旭化成クレマティカル	ME機器管理室	1年毎	業者	¥765,818	¥765,818	
90000001-002	ACH-10	ACH-10	ACH-10	★80506	旭化成クレマティカル	旭化成クレマティカル	ME機器管理室	1年毎	業者	¥765,818	¥0	
90000001-003	ACH-10	ACH-10	ACH-10	★80507	旭化成クレマティカル	旭化成クレマティカル	ME機器管理室	1年毎	業者	¥765,818	¥0	
90000002-001	DBG-02	DBG-02	DBG-02	★63008-03	日機装	成和	ME機器管理室	2年毎	業者	¥208,740	¥208,740	
90000003-001	DCG-02	DCG-02	DCG-02	★60002-02	日機装	成和	血液浄化療法部	2年毎	院内	¥92,729	¥0	透析内科予算にて実施
90000003-002	DCG-02	DCG-02	DCG-02	★60002-03	日機装	成和	血液浄化療法部	2年毎	院内	¥92,729	¥0	透析内科予算にて実施
90000003-003	DCG-02	DCG-02	DCG-02	★60002-04	日機装	成和	血液浄化療法部	2年毎	院内	¥92,729	¥0	透析内科予算にて実施
90000003-004	DCG-02	DCG-02	DCG-02	★60002-05	日機装	成和	血液浄化療法部	2年毎	院内	¥92,729	¥0	透析内科予算にて実施
90000003-005	DCG-02	DCG-02	DCG-02	★60002-06	日機装	成和	血液浄化療法部	2年毎	院内	¥92,729	¥0	透析内科予算にて実施
90000003-006	DCG-02	DCG-02	DCG-02	★60002-01	日機装	成和	血液浄化療法部	2年毎	院内	¥92,729	¥0	透析内科予算にて実施
90000011-001	TR-7000M	TR-7000M	TR-7000M	★97A01	東レ	東レ	血液浄化療法部	1年毎	院内	¥101,000	¥0	透析内科予算にて実施
90000011-002	TR-7000M	TR-7000M	TR-7000M	★96A10	東レ	東レ	血液浄化療法部	1年毎	院内	¥101,000	¥0	透析内科予算にて実施
90000011-003	TR-7000M	TR-7000M	TR-7000M	★97A09	東レ	東レ	血液浄化療法部	1年毎	院内	¥101,000	¥0	透析内科予算にて実施
90000011-004	TR-7000M	TR-7000M	TR-7000M	★A5XA17	東レ	東レ	血液浄化療法部	1年毎	院内	¥101,000	¥0	透析内科予算にて実施
90000011-005	TR-7000M	TR-7000M	TR-7000M	★96A07	東レ	東レ	血液浄化療法部	1年毎	院内	¥101,000	¥0	透析内科予算にて実施
90000011-006	TR-7000M	TR-7000M	TR-7000M	★96A06	東レ	東レ	血液浄化療法部	1年毎	院内	¥101,000	¥0	透析内科予算にて実施
90000001-004	ACH-10	ACH-10	ACH-10	★80355	旭化成クレマティカル	旭化成クレマティカル	血液浄化療法部	1年毎	業者	¥765,818	¥0	透析内科予算にて実施
90000012-001	プラナーHQ	プラナーHQ	プラナーHQ	★90302	旭化成クレマティカル	旭化成クレマティカル	血液浄化療法部	1年毎	業者	¥94,500	¥0	透析内科予算にて実施
90000008-001	透析液供給装置	TC-B(20)	TC-B(20)	★A0B005	東レ	東レ	血液浄化療法部	1年毎	業者	¥810,000	¥0	透析内科予算にて実施
90000009-001	透析用日粉未自動溶解装置	TP-1	TP-1	★	東レ	東レ	血液浄化療法部	1年毎	業者	¥810,000	¥0	透析内科予算にて実施
90000010-001	透析用A粉末自動溶解装置	TP-2	TP-2	★M62A0B006	東レ	東レ	血液浄化療法部	1年毎	業者	¥810,000	¥0	透析内科予算にて実施
90000006-001	逆流透過装置	MH252C-H	MH252C-H	★H-14014N2	JWS	成和	集中治療病棟	1年毎	業者	¥481,635	¥481,635	
90000007-001	逆流透過装置	MH253C-E	MH253C-E	★H-13337N2	JWS	成和	血液浄化療法部	1年毎	業者	¥677,145	¥0	透析内科予算にて実施
90000007-001	血液成分分離装置	COBE Spectra	COBE Spectra	★1S05287	GAMBRO	成和	ME機器管理室	1年毎	業者	¥157,500	¥157,500	
90000144-001	Cardio Life	TEC-7531	TEC-7531	★00852	日本光電	成和	手術部	1年毎	院内	¥60,900	¥0	
90000146-001	Cardio Life	TEC-8251	TEC-8251	★20342	日本光電	成和	手術部	1年毎	院内	¥61,950	¥0	
90000133-001	43120A	43120A	43120A	★2601A51086	ヒュークハッカー	カニシ	手術部	-	院内	-	¥0	保守サービス終了機器
90000137-001	ライフパック12A	LP12A-03	LP12A-03	★30185296	Medtronic	カニシ	手術部	1年毎	業者	¥164,850	¥164,850	バッテリー交換を含めた価格
90000140-001	HEART START XL	M4735A	M4735A	★US00117066	PHILIPS	カニシ	集中治療病棟	0.5年毎	院内	¥42,000	¥0	
90000140-002	HEART START XL	M4735A	M4735A	★US00117067	PHILIPS	カニシ	集中治療病棟	0.5年毎	院内	¥42,000	¥0	
90000143-001	Cardio Life	TEC-7511	TEC-7511	★1150	日本光電	カニシ	NICU	1年毎	院内	¥48,000	¥0	
90000144-002	Cardio Life	TEC-7531	TEC-7531	★01384	日本光電	カニシ	救急外来	1年毎	院内	¥58,000	¥0	
90000139-001	コードマタ	M1722B	M1722B	★3737A22951	ヒュークハッカー	カニシ	先進治療病棟	-	院内	-	¥0	保守サービス終了機器
90000144-003	Cardio Life	TEC-7531	TEC-7531	★01574	日本光電	カニシ	先進治療病棟	1年毎	院内	¥58,000	¥0	
90000144-004	Cardio Life	TEC-7531	TEC-7531	★01453	日本光電	カニシ	8階西病棟	1年毎	院内	¥58,000	¥0	
90000135-001	除細動器	FC200	FC200	★30142441	フクダ電子	カニシ	9階西病棟	2年毎	院内	¥26,000	¥0	
90000134-001	監視除細動装置	FC-1400	FC-1400	★30061022	フクダ電子	カニシ	6階東病棟	2年毎	院内	¥34,000	¥0	
90000144-005	Cardio Life	TEC-7531	TEC-7531	★01383	日本光電	カニシ	集中治療病棟	1年毎	院内	¥58,000	¥0	
90000142-001	Cardio Life	TEC-6100	TEC-6100	★02493	日本光電	成和	手術部	1年毎	院内	¥36,225	¥0	
90000138-001	M172220ZB347	M172220ZB347	M172220ZB347	★US00108768	フクダ電子	カニシ	血液浄化療法部	-	院内	-	¥0	保守サービス終了機器
90000140-003	HEART START XL	M4735A	M4735A	★US00128301	PHILIPS	カニシ	放射線部	0.5年毎	院内	¥42,000	¥0	
90000132-001	Cardio Pac	3M33	3M33	★6003146	NEC	カニシ	歯科手術部	1年毎	院内	¥57,750	¥0	保守サービス終了機器、体表ベージングができない。点検のみの価格
90000145-001	Cardio Life	TEC-7731	TEC-7731	★01043	日本光電	カニシ	放射線部	1年毎	院内	¥62,000	¥0	
90000147-001	ライフパック9P	ライフパック9P	ライフパック9P	★8120074	NEC	カニシ	放射線部	-	院内	¥143,000	¥0	
90000141-001	Cardio Life	TEC-7531	TEC-7531	★001457C	日本光電	カニシ	リハビリテーション部	1年毎	院内	¥58,000	¥0	
90000279-001	除細動器	FC-700	FC-700	★19080933	フクダ電子	カニシ	放射線部	-	院内	-	¥0	保守サービス終了機器
90000274-001	Cardio Life	TEC-6531	TEC-6531	★00164	日本光電	カニシ	歯科手術部	1年毎	院内	-	¥0	今年度新規購入機器
90000143-002	Cardio Life	TEC-7511	TEC-7511	★00803	日本光電	カニシ	生理検査室	1年毎	院内	¥48,000	¥0	
90000146-002	Cardio Life	TEC-8251	TEC-8251	★20428	日本光電	カニシ	外科外来	1年毎	院内	¥59,000	¥0	保守サービス終了機器、点検のみの価格
90000219-001	ATOM INFANT INCUBATOR	V-2100G	V-2100G	★1280302	ATOM	成和	NICU	1年毎	業者	¥30,000	¥30,000	
90000219-002	ATOM INFANT INCUBATOR	V-2100G	V-2100G	★1280631	ATOM	成和	NICU	1年毎	業者	¥30,000	¥30,000	
90000219-003	ATOM INFANT INCUBATOR	V-2100G	V-2100G	★1280300	ATOM	成和	NICU	1年毎	業者	¥30,000	¥30,000	
90000219-004	ATOM INFANT INCUBATOR	V-2100G	V-2100G	★1280303	ATOM	成和	NICU	1年毎	業者	¥30,000	¥30,000	
90000219-005	ATOM INFANT INCUBATOR	V-2100G	V-2100G	★1280304	ATOM	成和	NICU	1年毎	業者	¥30,000	¥30,000	
90000219-006	ATOM INFANT INCUBATOR	V-2100G	V-2100G	★1280299	ATOM	成和	NICU	1年毎	業者	¥30,000	¥30,000	
90000219-007	ATOM INFANT INCUBATOR	V-2100G	V-2100G	★1280301	ATOM	成和	NICU	1年毎	業者	¥30,000	¥30,000	
90000218-001	ATOM INFANT INCUBATOR	V-2100	V-2100	★6100411	ATOM	成和	NICU	1年毎	業者	¥30,000	¥30,000	
90000218-002	ATOM INFANT INCUBATOR	V-2100	V-2100	★6100412	ATOM	成和	NICU	1年毎	業者	¥30,000	¥30,000	
90000225-001	ATOM INFANT INCUBATOR	V-88	V-88	★8020401	ATOM	成和	NICU	1年毎	業者	¥30,000	¥30,000	
90000224-001	ATOM TRANS CAPSULE	V-850TR	V-850TR	★1112758	ATOM	成和	NICU	1年毎	業者	¥20,000	¥20,000	
90000223-001	ATOM TRANS CAPSULE	V-80TR	V-80TR	★3031354	ATOM	成和	NICU	1年毎	業者	¥20,000	¥20,000	

ME番号	機器名	商品名	型式	製造番号	製造元	保有場所	点検期間	実施者	業者実施時 必要経費	実質必要経費	備考	
90000165-001		ハンチレータ Servo-900C	Servo-900C	★177990	フクダ電子	フクダ電子	ME機器管理室	1年毎	業者	¥64,260	¥64,260	更新予定機器
90000168-001		ハンチレータ T bard	T bard	★KKHT1515	IMI	IMI	ME機器管理室	1年毎	業者	¥0?	¥0	交渉中
90000156-001		ハンチレータ AS-25	AS-25	★60126	MERA	JCT	手術部	1年毎	業者	-	¥0	今回は無償点検
90000166-001		ハンチレータ Servo-1	Servo-1	★101398	フクダ電子	フクダ電子	ME機器管理室	1年毎	業者	¥834,750	¥834,750	02センサ代(¥236250)込みの価格
90000164-001		ハンチレータ Servo-300	Servo-300	★06912	フクダ電子	フクダ電子	ME機器管理室	1年毎	業者	¥766,500	¥766,500	
90000165-003		ハンチレータ Servo-900C	Servo-900C	★80450	フクダ電子	フクダ電子	ME機器管理室	1年毎	業者	¥64,260	¥64,260	更新予定機器
90000161-001		ハンチレータ LTV-1000	LTV-1000	★A01421	アジレスビロニクス	アジレスビロニクス	ME機器管理室	2年毎	業者	¥325,269	¥325,269	
90000158-001		ハンチレータ Evita 4	EVT-4000	★ARRA-0005	Drager MEDICAL	成和	集中治療病棟	1年毎	業者	¥252,172	¥252,172	
90000158-002		ハンチレータ Evita 4	EVT-4000	★ARNB-0147	Drager MEDICAL	成和	集中治療病棟	1年毎	業者	¥252,172	¥252,172	
90000158-003		ハンチレータ Evita 4	EVT-4000	★ARRA-0014	Drager MEDICAL	成和	集中治療病棟	1年毎	業者	¥252,172	¥252,172	
90000158-004		ハンチレータ Evita 4	EVT-4000	★ARSA-0220	Drager MEDICAL	成和	集中治療病棟	1年毎	業者	¥252,172	¥252,172	
90000158-005		ハンチレータ Evita 4	EVT-4000	★ARSA-0217	Drager MEDICAL	成和	集中治療病棟	1年毎	業者	¥252,172	¥252,172	
90000158-006		ハンチレータ Evita 4	EVT-4000	★ARSA-0219	Drager MEDICAL	成和	集中治療病棟	1年毎	業者	¥252,172	¥252,172	
90000158-007	人工呼吸器	ハンチレータ Evita 4	EVT-4000	★ARRE-0500	Drager MEDICAL	成和	集中治療病棟	1年毎	業者	¥252,172	¥252,172	
90000158-008		ハンチレータ Evita 4	EVT-4000	★ARSA-0218	Drager MEDICAL	成和	集中治療病棟	1年毎	業者	¥252,172	¥252,172	
90000158-009		ハンチレータ Evita 4	EVT-4000	★ARSD-0191	Drager MEDICAL	成和	集中治療病棟	1年毎	業者	¥252,172	¥252,172	
90000158-010		ハンチレータ Evita 4	EVT-4000	★ARSA-0214	Drager MEDICAL	成和	集中治療病棟	1年毎	業者	¥252,172	¥252,172	
90000162-001		ハンチレータ インファント70-	M6721	★05953	イワウオーター	カワニシ	NICU	2年毎	業者	¥199,500	¥199,500	
90000162-002		ハンチレータ インファント70-	M6721	★05952	イワウオーター	カワニシ	NICU	2年毎	業者	¥82,845	¥0	次回点検は平成22年度
90000162-003		ハンチレータ インファント70-	M6721	★003023	イワウオーター	カワニシ	NICU	2年毎	業者	¥161,700	¥0	次回点検は平成22年度
90000160-001		ハンチレータ ハミングV	HUMMING-V	★V7110	カワニシ	カワニシ	NICU	2年毎	業者	¥190,050	¥190,050	
90000154-001		ハンチレータ ヘビ-ログ8000プラス	8410564-21	★ARDF0041	Drager MEDICAL	成和	NICU	業者	¥451,500	¥451,500		
90000154-002		ハンチレータ ヘビ-ログ8000プラス	8410564-21	★ARPM-0001	Drager MEDICAL	成和	NICU	業者	¥451,500	¥451,500		
90000159-001		ハンチレータ NEWPORT VENTIL	HT50	★02081012	TOKIBO	カワニシ	救急外来	2年毎	業者	¥414,750	¥414,750	
90000155-001		ハンチレータ Evita XL	8414900	★ARUM-0283	Drager MEDICAL	成和	集中治療病棟	1年毎	業者	¥252,172	¥252,172	
90000157-001		ハンチレータ BiPAP Vision	BiPAP Vision	★127718	アジレスビロニクス	アジレスビロニクス	ME機器管理室	2年毎	-	-	¥0	次回平成22年度に3年目オーバーホール予定
90000167-001		ハンチレータ Servo-S [1]	Servo-S	★6921	フクダ電子	フクダ電子	ME機器管理室	1年毎	業者	¥286,250	¥286,250	02センサ代(¥236250)込みの価格
90000167-002		ハンチレータ Servo-S [2]	Servo-S	★6922	フクダ電子	フクダ電子	ME機器管理室	1年毎	業者	¥286,250	¥286,250	02センサ代(¥236250)込みの価格
90000167-003		ハンチレータ Servo-S [3]	Servo-S	★6920	フクダ電子	フクダ電子	ME機器管理室	1年毎	業者	¥286,250	¥286,250	02センサ代(¥236250)込みの価格
90000167-004		ハンチレータ Servo-S [4]	Servo-S	★8969	フクダ電子	フクダ電子	ME機器管理室	1年毎	業者	¥286,250	¥286,250	02センサ代(¥236250)込みの価格
90000167-005		ハンチレータ Servo-S [5]	Servo-S	★8970	フクダ電子	フクダ電子	ME機器管理室	1年毎	業者	¥286,250	¥286,250	02センサ代(¥236250)込みの価格
90000167-006		ハンチレータ Servo-S [6]	Servo-S	★8971	フクダ電子	フクダ電子	ME機器管理室	1年毎	業者	¥286,250	¥286,250	02センサ代(¥236250)込みの価格
90000278-001		ハンチレータ R-100	R-100	★00037	メラン	カワニシ	集中治療病棟	2年毎	業者	-	¥0	平成20年度購入機器、次回点検は平成22年度
90000289-001		人工呼吸器	PRO-55V	★022200700	アコマ医科	成和	外来IVR7番	業者	¥65,444	¥65,444		
90000288-001		人工呼吸器	ACE-3000	★359939	アコマ医科	成和	10東	業者	¥56,028	¥56,028		
90000233-001		NARKOMED-GS	GS	★11532	Drager MEDICAL	成和	歯科手術部	1年毎	業者	¥268,600	¥268,600	手術部から歯科へ
90000233-002		NARKOMED-GS	GS	★15276	Drager MEDICAL	成和	手術部	1年毎	業者	¥497,900	¥497,900	R-9
90000234-001		ゼントサイコリッチ	T-70	★990004	セキムラ	成和	北病棟	1年毎	業者	¥12,600	¥12,600	
90000232-001		FabiusGS	FabiusGS	★ARWD-0029	Drager MEDICAL	成和	手術部	1年毎	業者	¥176,200	¥176,200	R-1
90000232-002		FabiusGS	FabiusGS	★ARWD-0030	Drager MEDICAL	成和	手術部	1年毎	業者	¥176,200	¥176,200	R-3
90000232-003		FabiusGS	FabiusGS	★ARWD-0048	Drager MEDICAL	成和	手術部	1年毎	業者	¥176,200	¥176,200	R-5
90000232-004		FabiusGS	FabiusGS	★ARWD-0050	Drager MEDICAL	成和	手術部	1年毎	業者	¥176,200	¥176,200	R-6
90000232-005	麻酔器	FabiusGS	FabiusGS	★ARWD-0031	Drager MEDICAL	成和	手術部	1年毎	業者	¥176,200	¥176,200	R-7
90000232-006		FabiusGS	FabiusGS	★ARWD-0032	Drager MEDICAL	成和	手術部	1年毎	業者	¥190,700	¥190,700	R-8
90000232-007		FabiusGS	FabiusGS	★ARWD-0049	Drager MEDICAL	成和	手術部	1年毎	業者	¥190,700	¥190,700	R-11
90000232-008		FabiusGS	FabiusGS	★ARXK-0002	Drager MEDICAL	成和	手術部	1年毎	業者	¥257,000	¥257,000	R-10
90000232-009		FabiusGS	FabiusGS	★ARZK-0087	Drager MEDICAL	成和	手術部	1年毎	業者	-	¥0	R-2 今年度新規購入機器、次回点検は平成22年度
90000230-001		NARKOMED-2B	8602021	★11300	Drager MEDICAL	成和	歯科手術部	1年毎	業者	¥196,100	¥196,100	
90000230-002		Cato	8602021	★ARNE-0003	Drager MEDICAL	成和	歯科手術部	1年毎	業者	¥227,600	¥227,600	
90000231-001		Ohmeda	Excel210SE	★10029066000	GE横河メデカル	カワニシ	歯科手術部	1年毎	業者	¥315,000	¥315,000	
90000234-002		ゼントサイコリッチ	T-70	★800014	セキムラ	成和	北病棟	1年毎	業者	¥12,600	¥12,600	
90000287-001		全身麻酔装置	PRO-INJ	★022201004	アコマ医科	成和	外来IVR7番	1年毎	業者	¥289,194	¥289,194	
90000292-001		麻酔器	VP-100	★93018	IMI	成和	10東	1年毎	業者	¥147,000	¥147,000	